

FX/BOで使える フラッグトレード

ロジックについて

今回お伝えするロジックは「**フラッグトレード**」です。

この手法はいわゆる“**裁量**”となりますので、特殊なインジケーターなどは使わず基本的にはチャートパターンを覚えて、特定の形が形成されてから（形成されそうになったら）決まったテクニカル分析を行いトレードします。

ですので、多少相性が合う合わないあるとは思いますが、少なくともこの知識を覚えるだけでも今までとはチャートの見方が変わるはずです。

また、**今回のロジックは完全オリジナル**となりますので、一般的に言われているエントリーポイントとは異なり、より優位性の高いポイントを狙っています。

特にFXについては、エントリー後の立ち回りもしやすく、勝率も安定します。

ロジックについて

もちろんBOでも同じエントリーポイントでトレードできますので、そういった意味でも使い勝手のいいロジックとなっています。

ただ、先にもお伝えしました通り“裁量ロジック”となりますので、今日知って明日から急にできるようになるものではないことを予めご理解ください。

焦らず、一つ一つ丁寧に腑に落としながら学んで行きましょう。

そしてもう一つ、**僕の話は単なるヒント**でしかないことをご理解ください。

やはり最終的には「**自分だけのスタイル**」をご自身で確率することが、本当の意味で勝ち続けていけるトレーダーになることだと思います。

ロジックについて

その点について、とてもわかりやすく丁寧に解説しているおすすめの動画がありますので、お時間ある時にぜひご覧になってみてください。

この動画で勝てるまでのストーリーが明確にわかると思います。

■ポコFX-Clover

- ・手法の全ては未完成（YouTube）

※14分50秒あたりから「勝てる人、負ける人の違い」についてわかりやすく、本当に良いお話していますので、ぜひみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=0g2Yck3GYLE>

この資料は、僕が伝えたいことを上手に表現してくれているブログや動画をたくさん引用させて頂いております。



ロジックについて

もちろん全て無料で見れるものですし、案件でもなんでもありませんのでご安心ください。

僕自身、説明がうまくありませんし、資料や動画のシナリオを作る手間を今掛けることができないので、キュレーションさせて頂いております。

ということで、早速スタートしましょう。

最後までよろしくお願いします！

FX/BOで使える フラッグトレード

学びの手順

学びの手順

学びの手順につきましては、以下の流れで進行させていただきます。

■基礎編

- 1、チャート紹介
- 2、フラッグロジックの基礎概要
- 3、エントリーポイントを知る
- 4、ロジックの構成要素を一つ一つ学ぶ
- 5、各根拠の考え方まとめ

■実践編

- 1、エントリーポイントを見つける（過去チャート上での検証）
- 2、エントリーポイントの様々なパターンを知り抽象化する力を身につける
- 3、動いているチャートでパターンを見つけて分析する（流れを理解する）

学びの手順

- 4、実際にトレードして検証する
- 5、トレード結果を集めて自己分析&改善を繰り返す
- 6、その他重要視すべきポイントをまとめていきながら経験値を積みスキルアップする

ざっとこのような流れになるかと思います。

それでは、基礎編に入ります。

※本資料は基礎編となります。

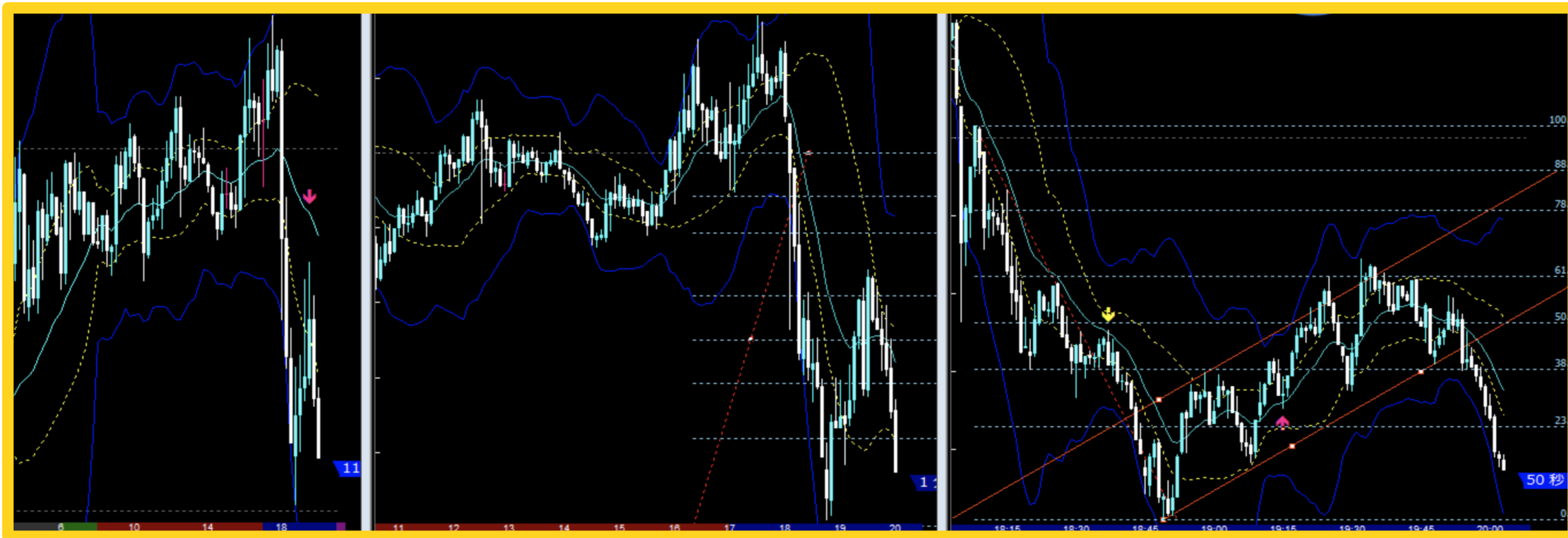
後述しますが、実践編は不定期メルマガにて情報共有していきます。

FX/BOで使える フラッグトレード

基礎編：チャート紹介

基礎編：チャート紹介

まずは僕がこのロジックを実践しているチャートを紹介します。



● 15分足

● 5分足

● 1分足

こちらは全てポンド円（GBP/JPY）です。

僕はポンド円しかトレードしませんので、PC 1台でこのレイアウトにしています。

基礎編：チャート紹介

それぞれの時間足の役割は

- ① 15分足・5分足▶ 環境認識「直近の状況と流れを確認、現在位置の確認」
- ② 1分足▶ チャートパターンを見つけてエントリーポイントを導く

こちらが基本の考え方となります。

もちろん、この時間足だけで分析できない場合は、1時間足・4時間足・日足等他の時間足で環境認識をすることは頻繁にあります。

環境認識の方法についても状況に応じて様々なので、一概に“これだけ”とは言えませんが、強いて言えば「ライン、現在位置、波動論、チャートパターン、インジケーターとの位置関係」を複合的に見えています。

基礎編：チャート紹介

ただ、上位足の環境認識は基礎を固めてからにした方がいいと思います。

単純に考えることが多くなり、複雑になるから。という意味もありますが、
僕の経験上『**環境認識が腑に落ちるタイミングは、負けた理由が下位足で見つからない時**』です。

ここで初めて上位足を見に行って気付く。

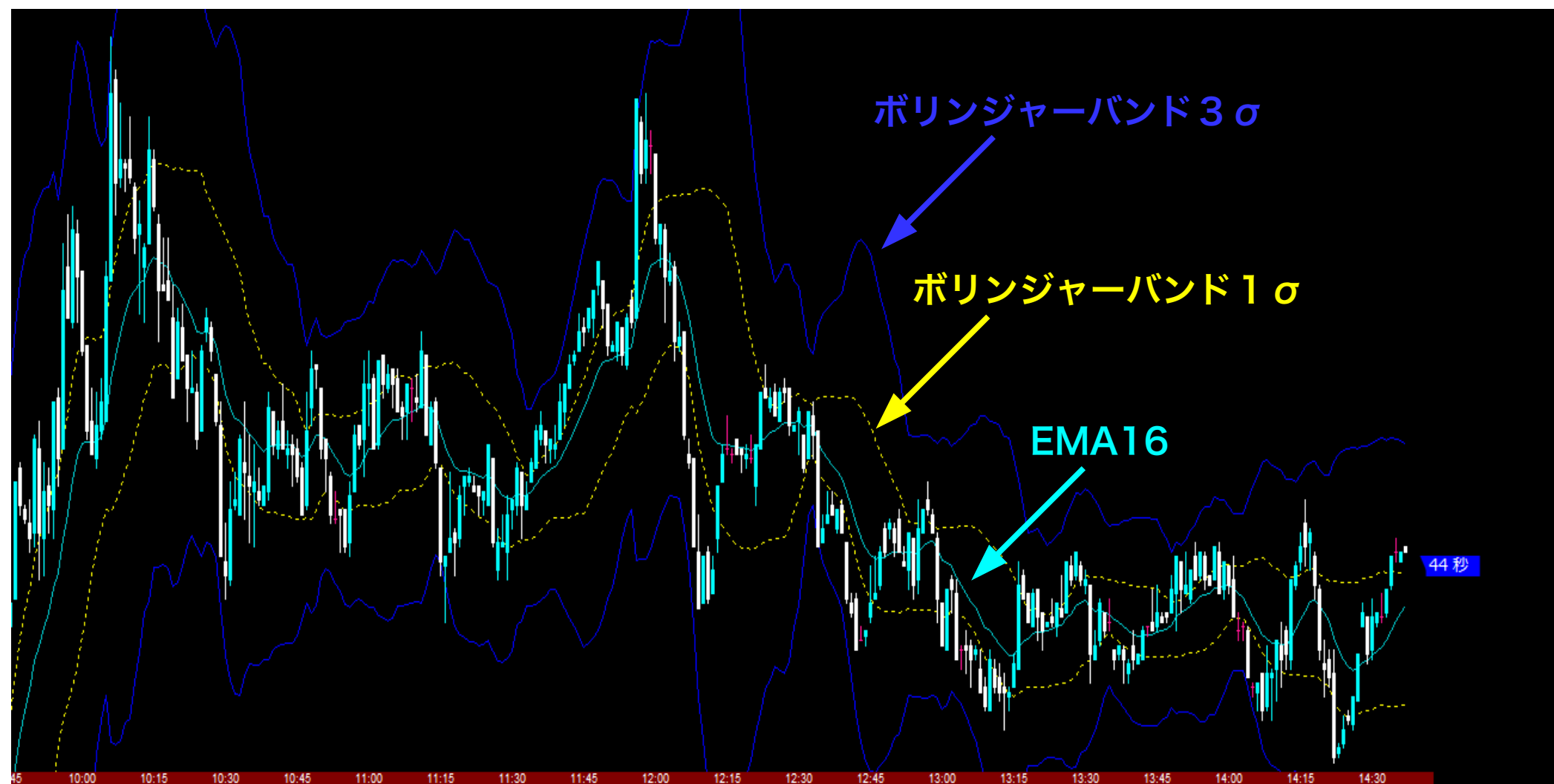
そして、そこで初めて本当の意味で“**なるほど、だからか**”と腑に落ちます。

ただ単に知識レベルで先に色々と学んだとしても、実践で使えることは稀です。

その時々フェーズに合わせて、体得すべき流れを何度も繰り返すことが、上位足分析も含めて実践的なトレードスキルの上達に繋がると思います。

基礎編：チャート紹介

次に表示しているインジケーターの紹介です。



基礎編：チャート紹介

■インジケーター

- ・ボリンジャーバンド 3 σ (SMA20)
- ・ボリンジャーバンド 1 σ (SMA20)
- ・EMA 16 (平均線の種類：Exponential (指数平滑移動平均線))
- ・次足に切り替わるまでの時間を表示しているカウンター
- ・日本時間で現在の時間帯を帯色で教えてくれるインジケーター

基本的にメインチャートにはこの5つを表示しています。

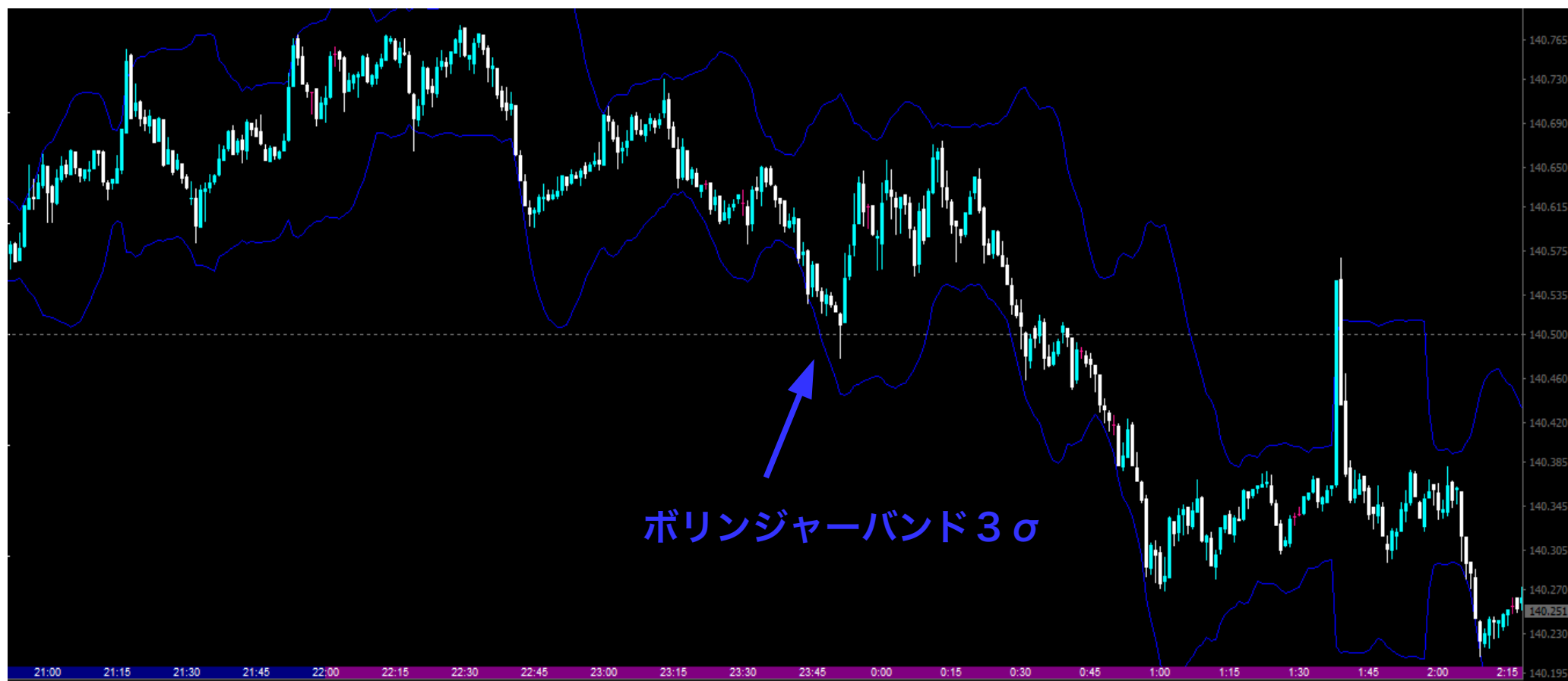
※EMAと1 σ は別ロジックで使用している関係で常に表示しています。

ただ、実際にフラッグトレードで使うのは「**ボリンジャーバンド 3 σ** 」だけなので、それ以外は非表示でも問題ありません。

するとチャートを最もシンプルにした場合、次のような絵になります。

基礎編：チャート紹介

必要最低限の最もシンプルなチャート。



基礎編：チャート紹介

このシンプルなチャートでもフラッグトレードは十分できますので、お好みに合わせて選択してください。

ボリンジャーバンドの役割は以下の通りです。

■インジケーターの役割

- ・ボリンジャーバンド 3σ ▶ フラッグが反転する頂点を見極めるための逆張り指標として使います。

“トレードをする”ということ自体、とても高度で難しいことなので、不要なインジケーターや、効力の薄い分析、奇を衒うような本質から外れたテクニカルなど、**無駄なことは極力削ぎ落として『シンプル』にしていくことをおすすめ**します。

基礎編：チャート紹介

最初は情報を削ぎ落とすことに不安や抵抗を覚えることもあるかと思いますが、
「自分が何をしようとしているのか？」を理解し、その上で『**本当に必要なモノ**』
だけを残すようにすると、処理しきれない量の情報に振り回されることもなくなり、
良い意味で肩の力が抜け、自然と結果も付いてくると思います。

何事も、“やり抜けば一周回ってシンプルに落ち着く”という事例がいろんな分野で
たくさんあると思います。

トレードも一緒です。

そして、1つ見えることで、今まで点として認識していたことが線として繋がり、
自然と他のことにも気づけるようになります。

基礎編：チャート紹介

そのフェーズに入れば、1つ目と同様のアプローチで必要な情報を追加し、まとめていけば良いと思います。

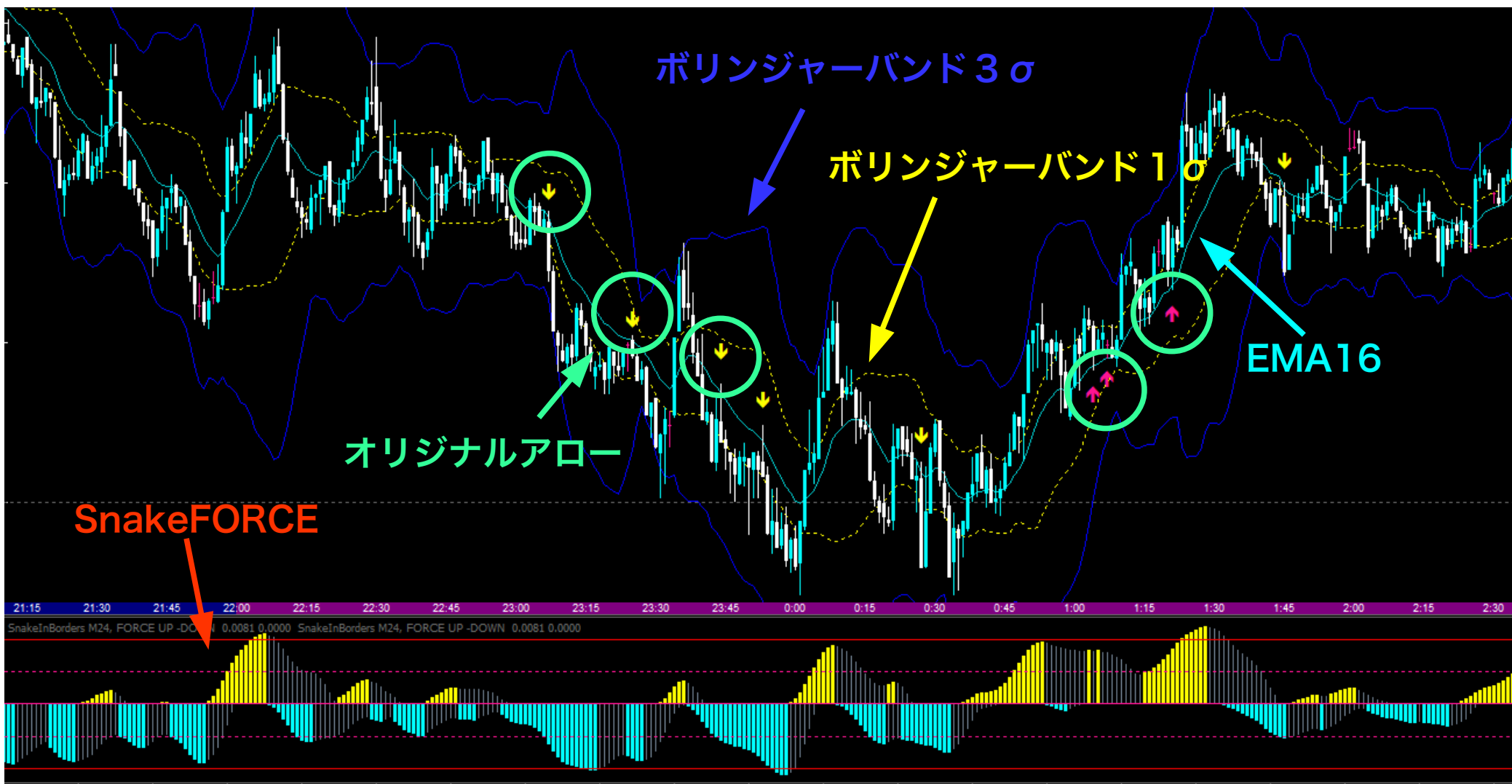
“情報の処理能力”はもちろん重要ですが、それと同様に「情報を整理する力」も重要ですので、何かにつまずいた時にでも思い出していただければと思います。

そして今後目線を揃えていくためにも実践編として、**フラッグトレードにおいて、綺麗なエントリーポイントを見つけた時や、僕のエントリーポイントを、不定期でポツポツとシェア**し行こうと考えています。

その際、僕のフルカスタムチャートでシェアすると思いますので、一応紹介しておきます。

基礎編：チャート紹介

フルカスタムチャート





基礎編：チャート紹介

このチャートでシェアしたとしても、フラッグロジックに関係ないものは無視するようお願いします。

チャート紹介は以上となります。

続きまして、「フラッグロジックの基礎概要」に移ります。

FX/BOで使える フラッグトレード

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

“ロジックの基礎概要を知る”ということは、「**自分が何をしようとしているのかを理解する**」ということです。

よく“チャートを読む”と言われますが、インジケーターがどうのという小手先の話ではなく、あれは「**チャートの向こうにいるトレーダーの意図を読む**」という意味です。

チャートとは、世界のトレーダーの意図の縮図であり、その意図を読み解いて、自分のスキルが最も機能する場面でトレードすることが、勝つための秘訣の一つですし、本質です。

ですので、まずは“自分が何をしようとしているのか？何ができるのか？”を理解しましょう。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

また、概要が無意識レベルまで腑に落ちていると、変なポイントでエントリーすることが気持ち悪くなるので下手なところでポジポジできない体になります。

つまり、**無駄なエントリーが減るので、トレード上達に必要な経験にのみ資金を投下することができ、未来に繋がる生き金となります。**

更に、目線が固定されるので検証・分析・改善の効率も上がります。

良いことだらけなので、面倒に思うかもしれませんが、未来の自分のためにも擦り込むように基礎概要を理解していきましょう。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■フラッグロジックの基礎概要まとめ

- ・チャートパターン▶フラッグ（チャンネルレンジ）

※引用：Re:studyFX 『フラッグとは？基本情報』ブログ

<https://restudy-fx.com/chart-pattern-flag/>

トレンド発生中のフラッグ（チャンネルレンジ）狙い

- ・特徴▶トレンドフォロー型ロジック

大局では順張りだが、ロジック的にフラッグ（チャンネルレンジ）の高値安値を先に想定してエントリーするので、1分足ではレンジ逆張りに見える

従って、厳密には「**トレンド継続中のレンジ逆張り**」というイメージ

- ・推奨通貨▶ポンド円（GBP/JPY）テクニカルが効きやすく値幅も取れるため
- ・推奨時間帯▶ロンドン時間、NY時間（日本時間で午後15時以降）※理由は下記ブログで

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

どうしても日本時間がよければ、午前9時～11時くらいまで。

指標やマーケットオープン（節目時間）などには気をつけましょう。

ちなみに僕は日本時間ではほとんどトレードしません。

※引用：FX初心者講座『FX時間帯ごとの特徴』（ブログ）

▶ <https://fx-megabank.com/fx-basic/recommended-trading-time/>

- ・ 執行足 ▶ 1分足（チャートはフラクタルなので他の時間足でも使えます）

※引用：FXの読み物『フラクタル構造』とは？（ブログ）

▶ <https://fx-mono.com/fractal-fx-chart-pattern/>

- ・ 環境認識 ▶ 直近の状況や流れを確認：5分足・15分足

より俯瞰して状況を確認：1時間足、4時間足、日足

- ・ **勝率を上げるために、トレンド発生後、1回目のフラッグを狙う**

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

- ・トレンドが発生しないと入れないロジックなので、スタンスとしては「トレンド発生を待って、1回目のフラッグ（チャネルレンジ）を想定してエントリー」
- ・重要なことは「**トレンドの確認**」と「**形の良い1回目のフラッグ（チャネルレンジ）**」

■分析に使用するテクニカルツール

- ・フィボナッチリトレースメント ▶ 引用：FXブロードネット（ブログ）

<https://www.fxbroadnet.com/tech/technicalchart/tech20.jsp>

- ・チャネルライン ▶ 引用：FXちゃお（ブログ）

<https://www.fxciao.com/fx-technical/techzen/7151/>

- ・ボリンジャーバンド ▶ 引用：FXブロードネット（ブログ）

<https://www.fxbroadnet.com/tech/technicalchart/tech04.jsp>



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

この3つのテクニカルツールは「**フラッグの反転ポイントを導き出す指標**」として使います。

次のページから具体的な使用方法を図で解説いたします。

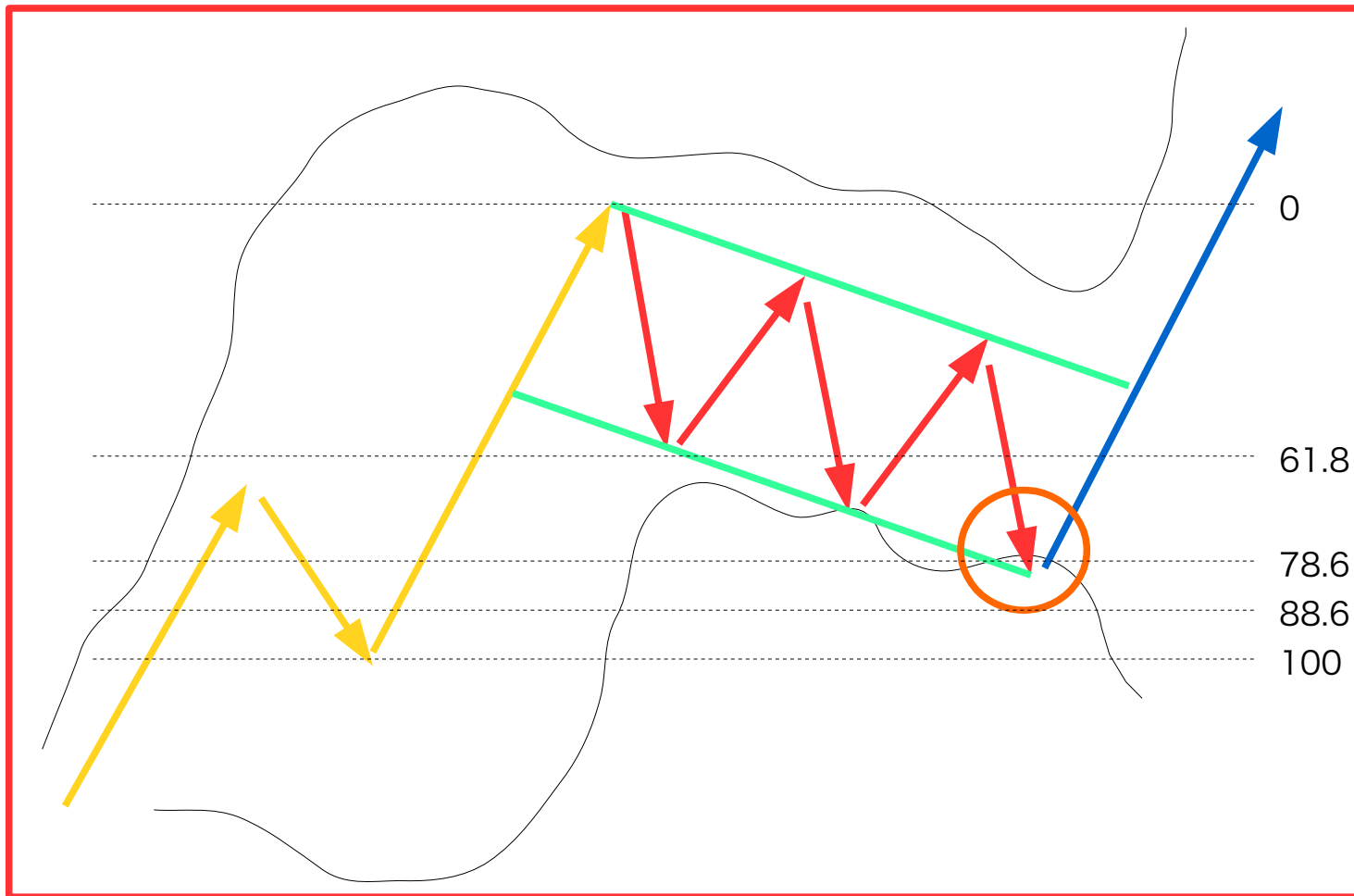
また次章の”ロジックの構成要素を学ぶ”という項目で、動画でも詳しい解説が有りますが、まずは上記のブログで基礎知識を身につけておくの良いと思います。

これまでの概要を元に、エントリーポイントのイメージ図を見てみましょう。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■エントリーポイントイメージ図

1、ロング（ハイエントリー）



- ・黄色▶トレンド波動
- ・赤▶フラッグ
チャンネルレンジ
- ・緑▶チャンネルライン
- ・黒実線▶BB 3σ
- ・黒点線▶フィボナッチ
- ・オレンジの丸が
▶エントリーポイント！
- ・フラッグトレードは青の
波動を取りに行く手法

次のページで解説します。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

前提として、この図は1分足のみの図としてください。

①まずは『**黄色の3本の矢印**』で高値安値を更新しながら、しっかりと上昇してきている**▲トレンド発生中**
ここでは当然エントリーせずに焦らず静観です。

②黄色の波動でしっかり上昇してきたら、

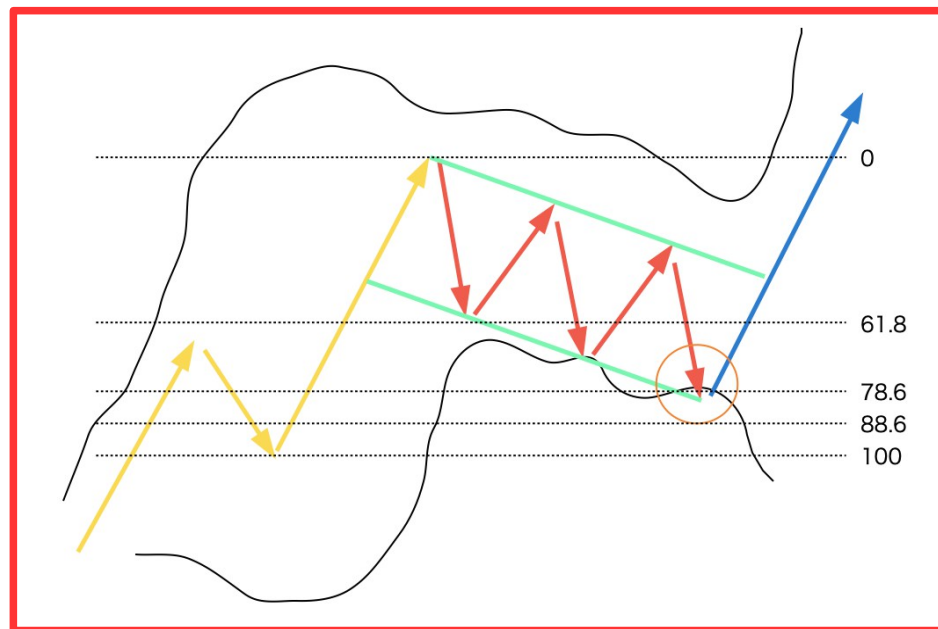
次は『**赤のジグザグの波動を確認**』します。

この波動が「**フラッグ（チャネルレンジ）**」なので、このような形になってきたら、赤い波動の上限下限（実体ではなく出来るだけヒゲを結ぶ）に『**チャネルライン（緑の斜めライン）**』を引きます。

③チャネルラインを引いたら、同時に『**黄色の上昇波動の起点を結ぶように黒点線のフィボナッチ**』を当てます。

フィボナッチを当てたら、「61.8、78.6、88.6」を確認します。

この3つの数値（フィボナッチのライン）がエントリーポイントの目安となります。



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

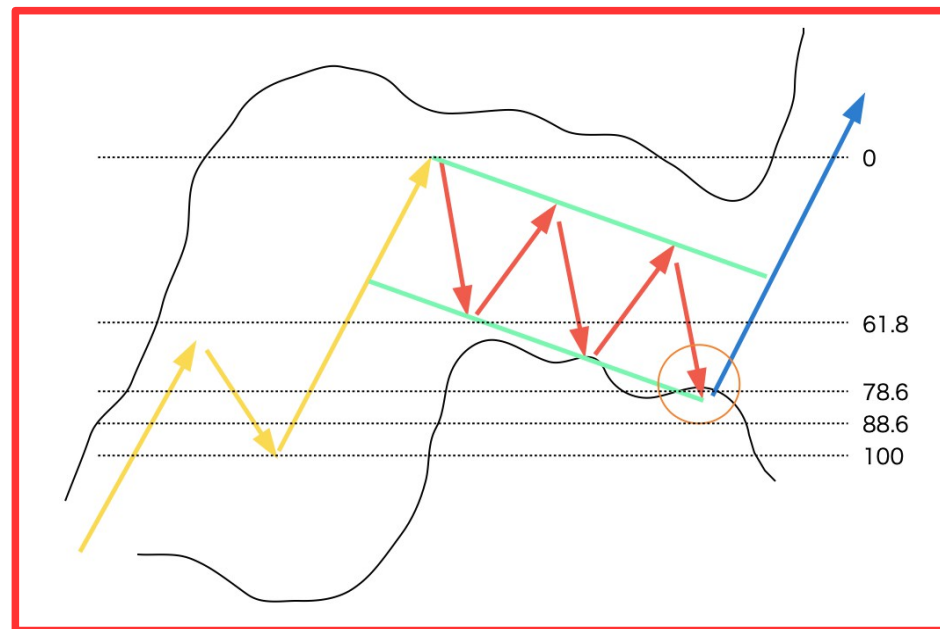
※フィボナッチを当てる際のポイントは以下の通りです。

- ・必ず直近の**トレンド波動に当てる**
- ・ロウソク足の実体ではなく、必ず**ヒゲ先に当てる**
- ・**フラッグ（チャネルレンジ）の縦幅に応じて、どの波動が適切か見極めて当てる**（裁量）

慣れてしまえば簡単なことですが、恐らく最初はこちらがわかりにくいポイントになると思います。

ですので、先に述べたように綺麗なポイントや、エントリーポイントをシェアしていきますので、そこで感覚を養いましょう。

また、次章で実際のチャートで解説しますので、そこもチェックしてください。



- ④上記3つの過程から、『**緑の斜めライン**』+『**黒点線のフィボナッチ（61.8、78.6、88.6）**』が『**クロスしたオレンジ丸地点▶暫定エントリーポイント**』がある程度見えてきます。

ここでロング・ハイエントリーを待ち構えています。

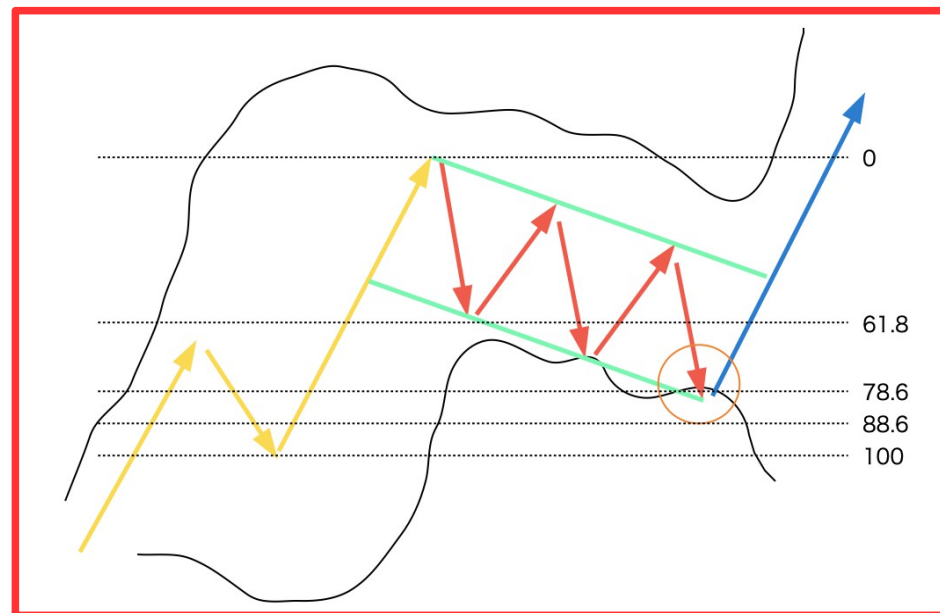
基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

⑤最後はロウソク足が『**オレンジの暫定エントリーポイント**』に近づいてきた時に、『**黒実戦のBB3σ**』が、



**クロス地点に交差している、もしくは近くにいれば
エントリーポイント確定！**となります。



⑥『**黄色の上昇トレンド確認**』 ▶ 『**赤のフラッグ形成**』

『**チャネルライン**』 + 『**黒点線のフィボナッチ (61.8、78.6、88.6)**』 + 『**黒実戦のBB3σ**』がクロスしている地点がある！もしくはこの3つの根拠が近くに密集している地点がある！

エントリーポイント確定！

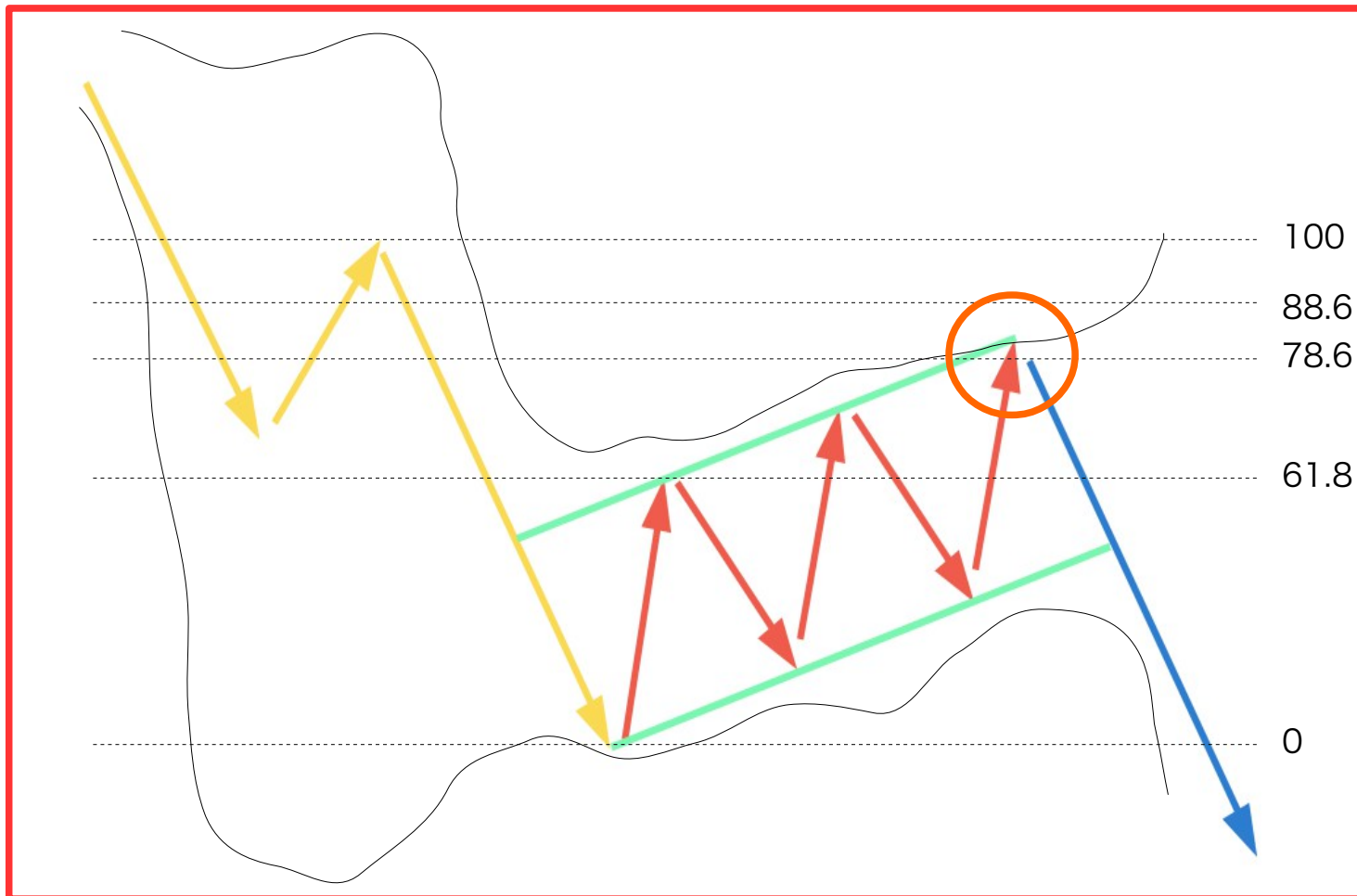
▶後はロウソク足がクロス地点にタッチしたらエントリーです。

このような流れになります。考え方はショート（ローエントリー）も一緒です。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■エントリーポイントイメージ図

2、ショート（ローエントリー）



- ・黄色▶トレンド波動
- ・赤▶フラッグ
チャンネルレンジ
- ・緑▶チャンネルライン
- ・黒実線▶BB 3 σ
- ・黒点線▶フィボナッチ
- ・オレンジの丸が
▶エントリーポイント！
- ・フラッグトレードは青の
波動を取りに行く手法

次のページで解説します。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

前提として、この図は1分足のみの図としてください。

①まずは『**黄色の3本の矢印**』で高値安値を更新しながら、しっかりと下落してきている▶トレンド発生中
ここでは当然エントリーせずに焦らず静観です。

②黄色の波動でしっかり下落してきたら、

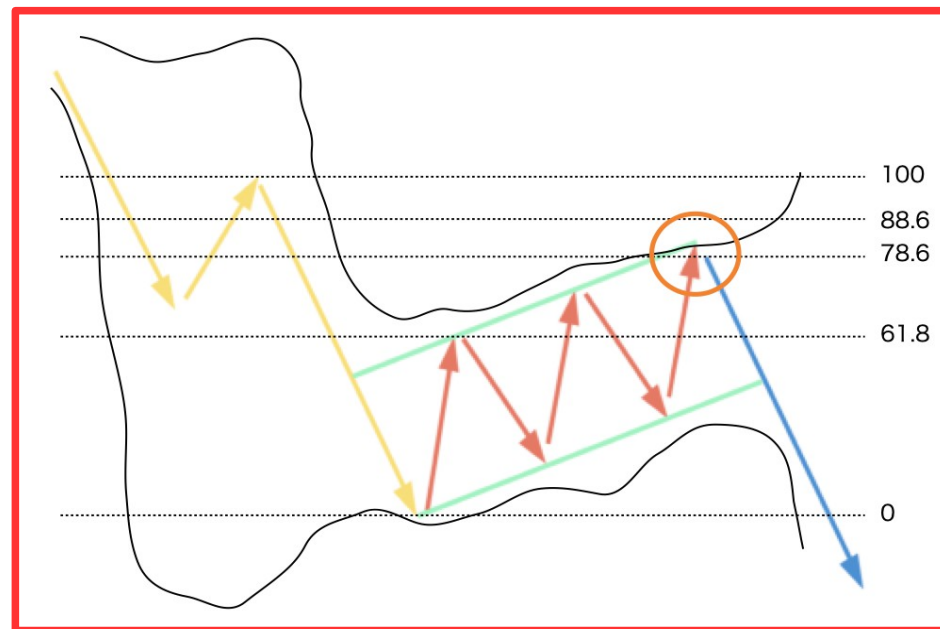
次は『**赤のジグザグの波動を確認**』します。

この波動が「**フラッグ（チャネルレンジ）**」なので、このような形になってきたら、赤い波動の上限下限（実体ではなく出来るだけヒゲを結ぶ）に『**チャネルライン（緑の斜めライン）**』を引きます。

③チャネルラインを引いたら、同時に『**黄色の下落波動の起点を結ぶように黒点線のフィボナッチ**』を当てます。

フィボナッチを当てたら、「61.8、78.6、88.6」を確認します。

この3つの数値（フィボナッチのライン）がエントリーポイントとの目安となります。



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

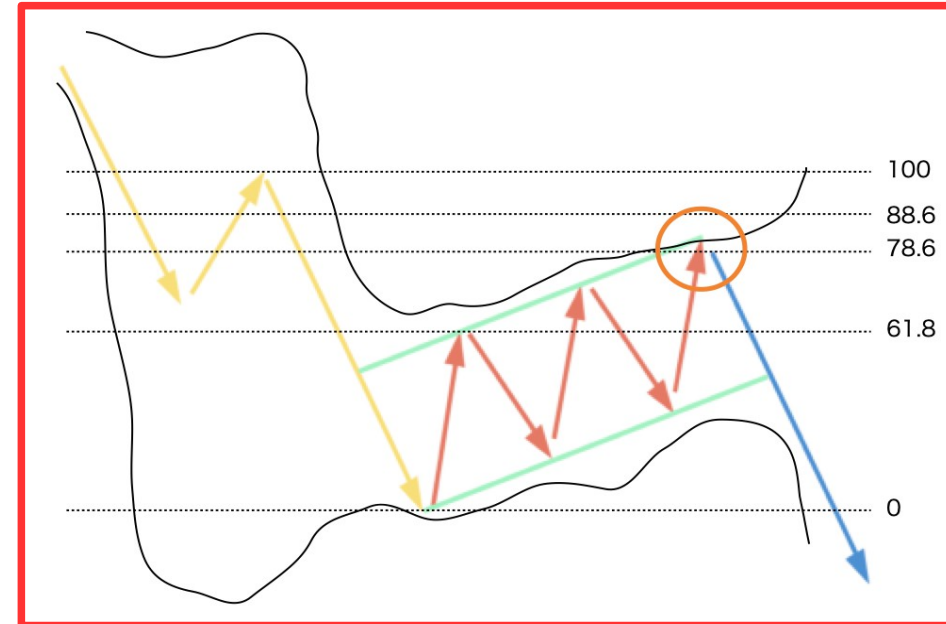
④上記3つの過程から、『**チャネルライン**』 +
『**黒点線のフィボナッチ (61.8、78.6、88.6)**』が
『**クロスしたオレンジ丸地点▶暫定エントリーポイント**』
がある程度見えてきます。
ここでショート・ローエントリーを待ち構えています。

⑤最後はロウソク足が『**オレンジの暫定エントリーポイント**
ト』に近づいてきた時に、『**黒実戦のBB3σ**』が、



**クロス地点に交差している、もしくは近くにいれば
エントリーポイント確定！**となります。

このように、フラッグトレードは「トレンド発生中のフラッグ（チャネルレンジ）で逆張りをするロジック」となっています。



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■解説

⑥『黄色の上昇トレンド確認』 ▶ 『赤のフラッグ確認』
『緑のチャネルライン』

+

『黒点線のフィボナッチ（61.8、78.6、88.6）』

+

『黒実戦のBB 3σ』がクロスしている地点がある！

もしくはこの3つの根拠が近くに密集している地点がある！

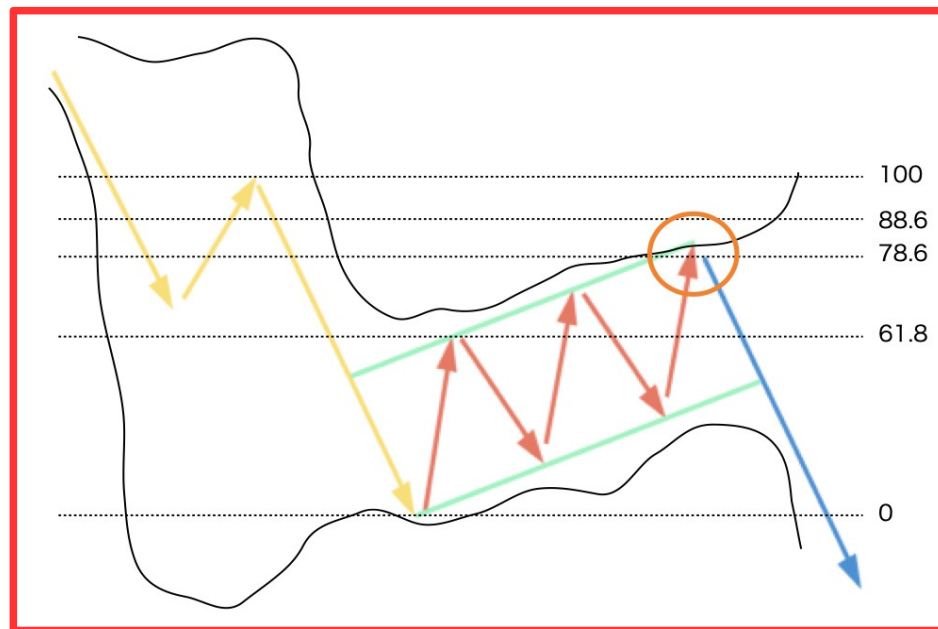


エントリーポイント確定！後はロウソク足がクロス地点にタッチしたらエントリーです。

フラッグトレードはこのパターンをイメージしてトレードしていきます。

ただし！！

どのロジックにも共通して言えることなんですが、フラッグトレードにも**注意点**があります。



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

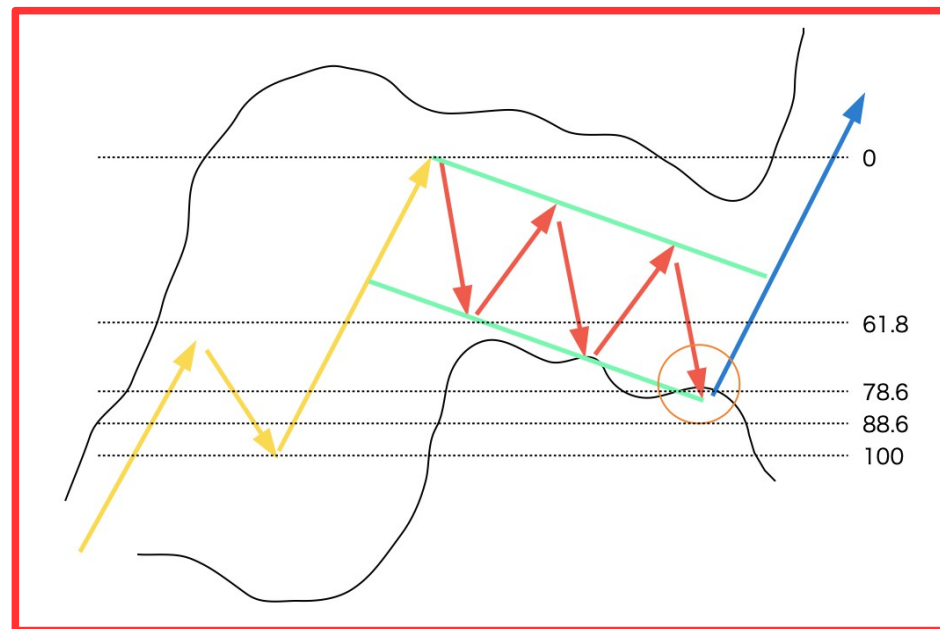
■解説

【注意点】

相場は生き物であり、基本的に同じ相場は2度と現れないことから、全てのエントリーポイントが画像のような綺麗な形であったり、条件がぴったり当てはまるなんてことはほぼほぼありえないと思ってください。

ですので、形の違うフラッグパターンを何度も見て、多少変形していても、“これもフラッグのパターンだ”と認識できるようにある程度「**チャートを抽象化する力**」を身につけることが重要になります。

- ・ フィボナッチ、BB3σ、チャネルラインに同時にしっかり刺さってません！
- ・ フィボナッチ、BB3σ、チャネルラインが綺麗にクロスしません！
- ・ 画像のようにフラッグの形がしっかりジグザグしません！
- ・ フラッグの波動がチャネルラインに届いていません！抜けちゃってます！



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

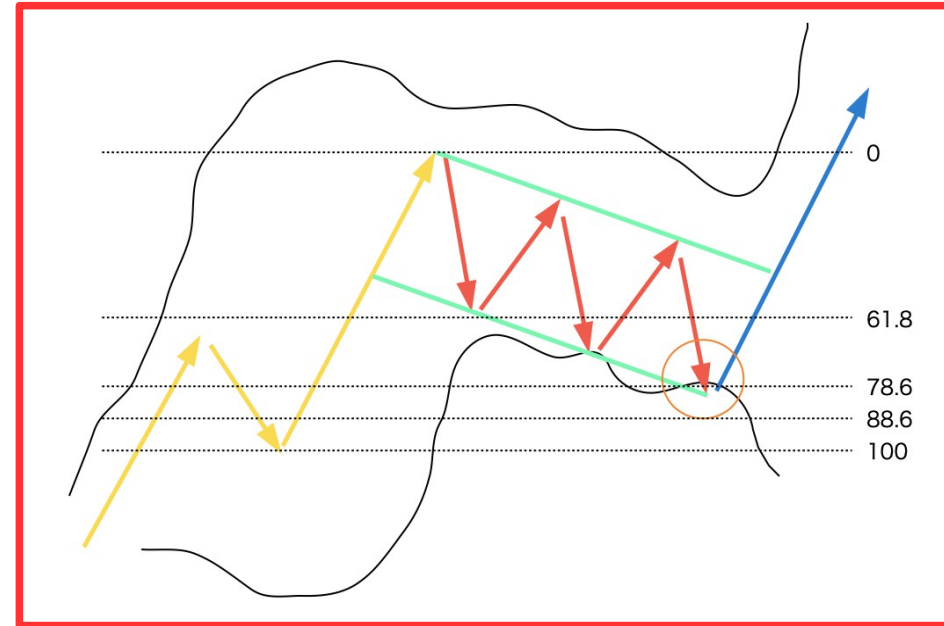
■解説

- ・トレンドが3波動ではなく1波動です！
あるいは5波動だと思います！
- ・チャネルレンジは何波動必要ですか？
どんな波形が一番勝率高いですか？

理想的なイメージしか持っていないと、いざチャートを見てもいつまでもフラッグを見つけられなかったりします。
（"リアルタイムで見つけられない" という意味です）

『**トレードは常に応用**』であり、理想の形を頭に残しつつ、意識的にチャートを抽象化して見ていくことがとても重要なので、**とにかくまずは "質よりも量" でたくさんチャートを見ましょう。**

地道ですが、慣れるまではこれしかありません。



基礎編：フラッグロジックの基礎概要

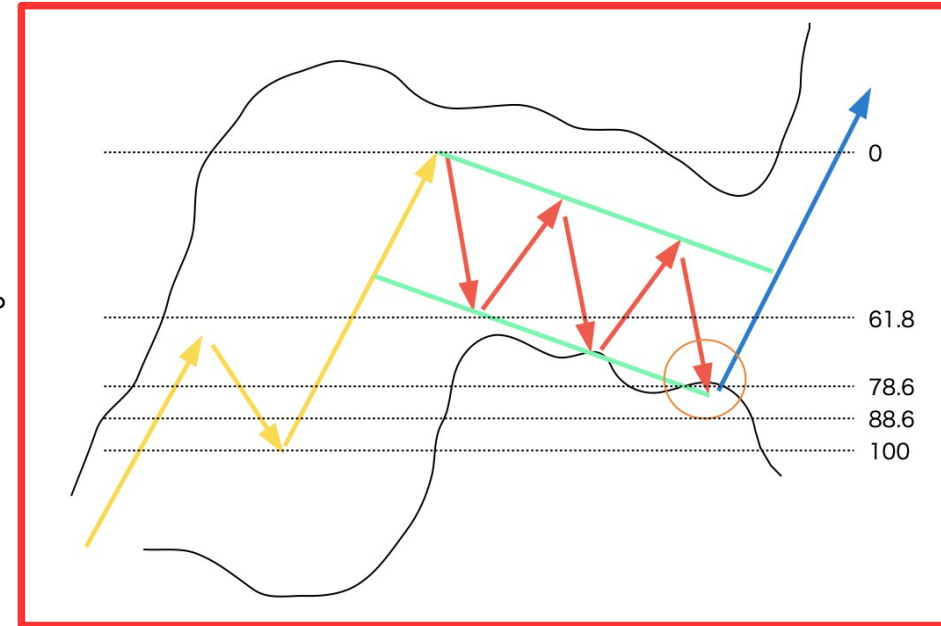
■解説

また、何度も繰り返しフラッグを見続けることで
ご自身の目でこのロジックの有効性も確認できるはずです。

その点も意識して見て頂ければ効率いいと思います。

そして、ロジックの有効性を頭で理解できれば、後は
体が自然と反応するように、淡々とトレードを繰り返
せばいいだけです。

最初はイメージ通りに行かないことがあると思いますが、そこは検証改善を繰り返すことで結果に繋がって
いくはずです。



『実際にチャートから様々なパターンを見て、体感して、上記の図形をどんどん抽象化できるようになるよ
うに経験値を積む』ようにしていきましょう。

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■BOの場合

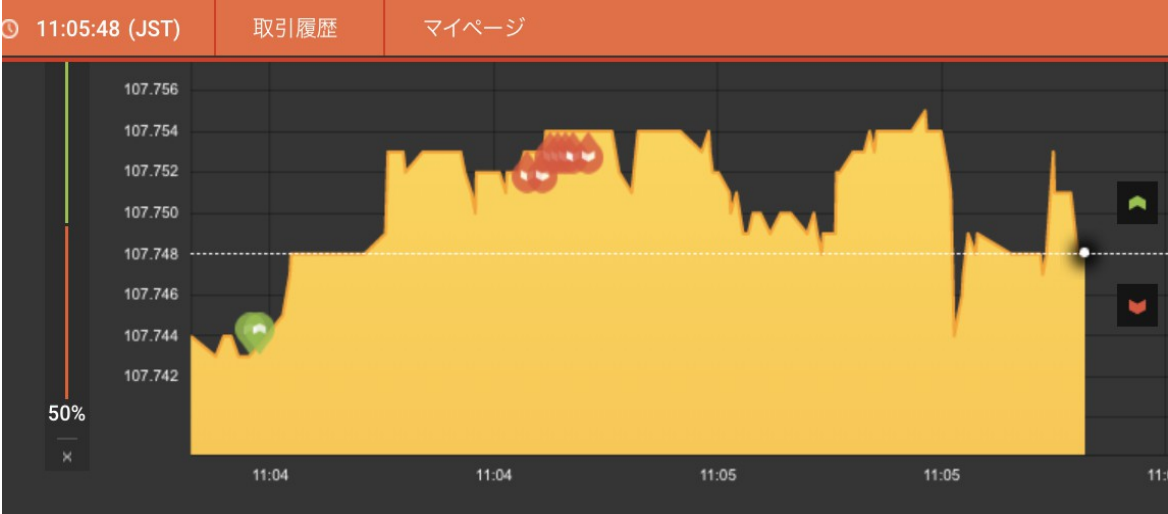
- ・ 1分足で分析

ハイローオーストラリア：ターボ30秒（ターボ1分でもOK）でエントリー

- ・ 勝率は平均約7割～8割
- ・ 1日のチャンス回数は3～5回
- ・ 基本的にはピンポイントで1ショットエントリーなのですが、ロジックに慣れてきて、勢いのある短期的な波に乗れるようになると、「**流れに乗って複数ショットで取る**」こともできます。

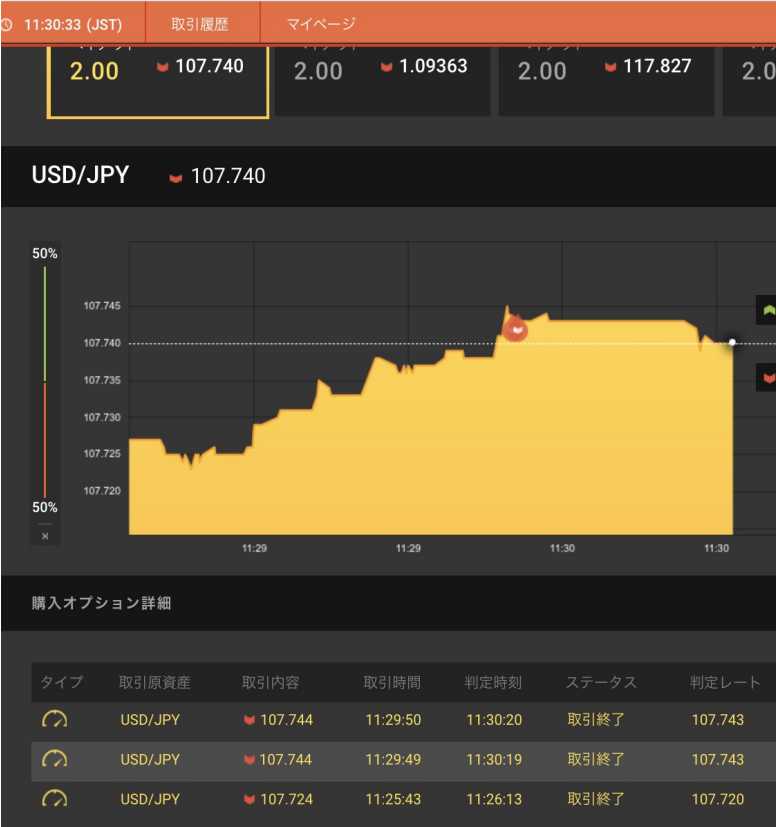
参考までに、過去別件で用意させられた僕のトレード画像を貼っておきます。

【注意】 複数ショットは最終形として、本当にロジックに慣れてきてから行うようにしてください。この後のエントリー画像は最終的にこのようになれる可能性があるというイメージとしてご覧ください。



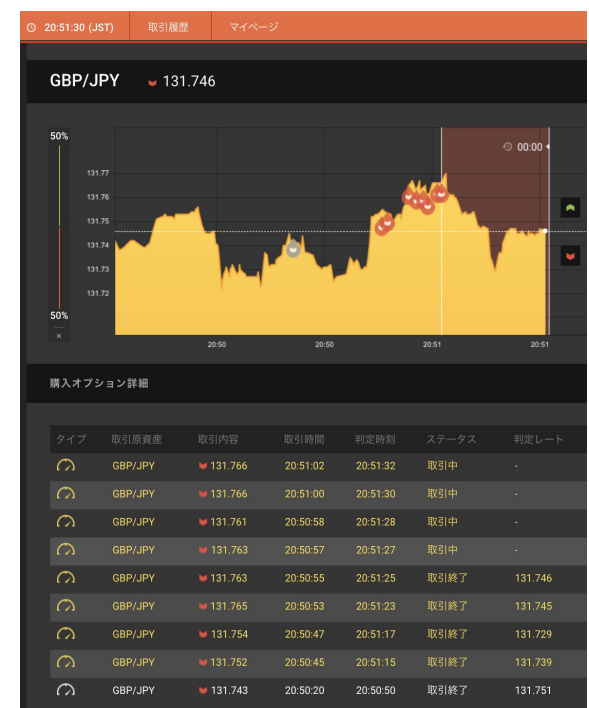
購入オプション詳細

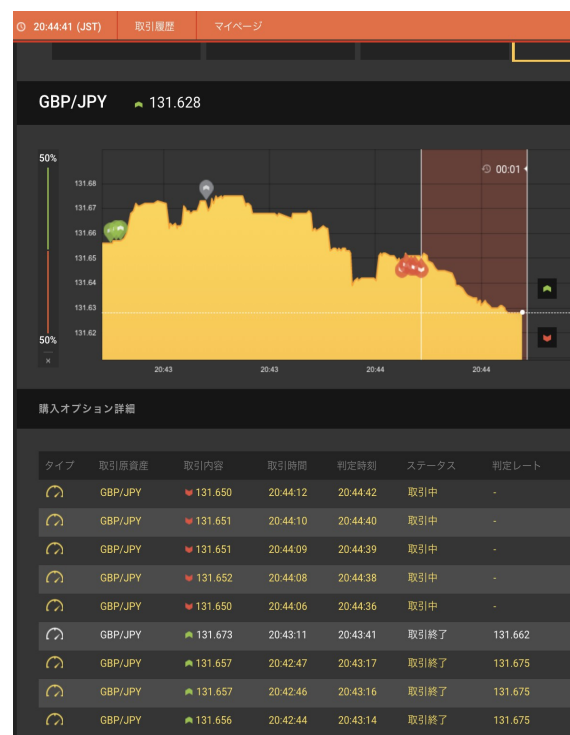
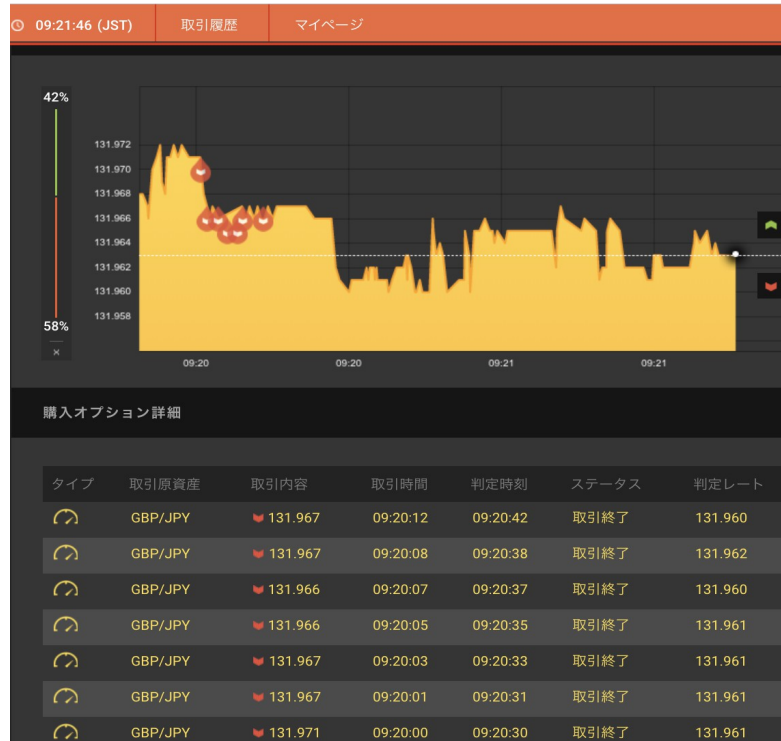
タイプ	取引原資産	取引内容	取引時間	判定時刻	ステータス	判定レート
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:04:42	11:05:12	取引終了	107.749
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:04:40	11:05:10	取引終了	107.750
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:04:39	11:05:09	取引終了	107.750
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:04:38	11:05:08	取引終了	107.750
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:04:37	11:05:07	取引終了	107.749
🔄	USD/JPY	📈 107.753	11:04:36	11:05:06	取引終了	107.750
🔄	USD/JPY	📈 107.753	11:04:33	11:05:03	取引終了	107.749
🔄	USD/JPY	📈 107.743	11:03:58	11:04:28	取引終了	107.752
🔄	USD/JPY	📈 107.743	11:03:56	11:04:26	取引終了	107.749
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:03:27	11:03:57	取引終了	107.743
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:03:26	11:03:56	取引終了	107.743
🔄	USD/JPY	📈 107.753	11:03:24	11:03:54	取引終了	107.744
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:03:23	11:03:53	取引終了	107.743
🔄	USD/JPY	📈 107.754	11:02:50	11:03:20	取引終了	107.753

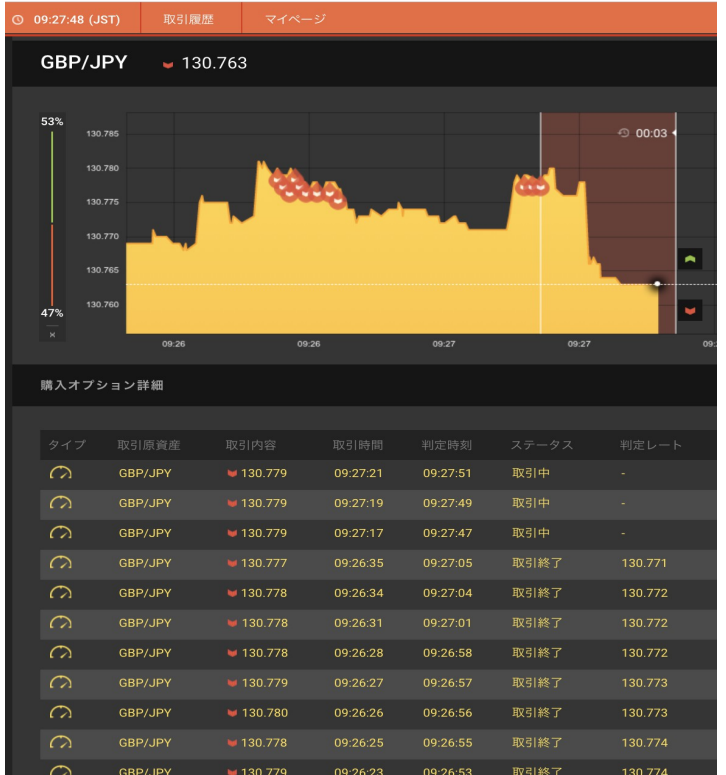
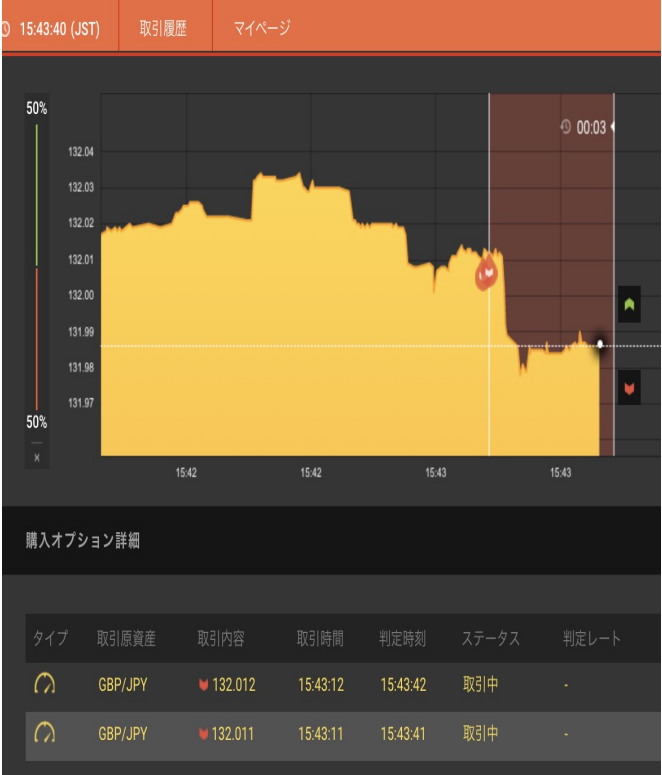


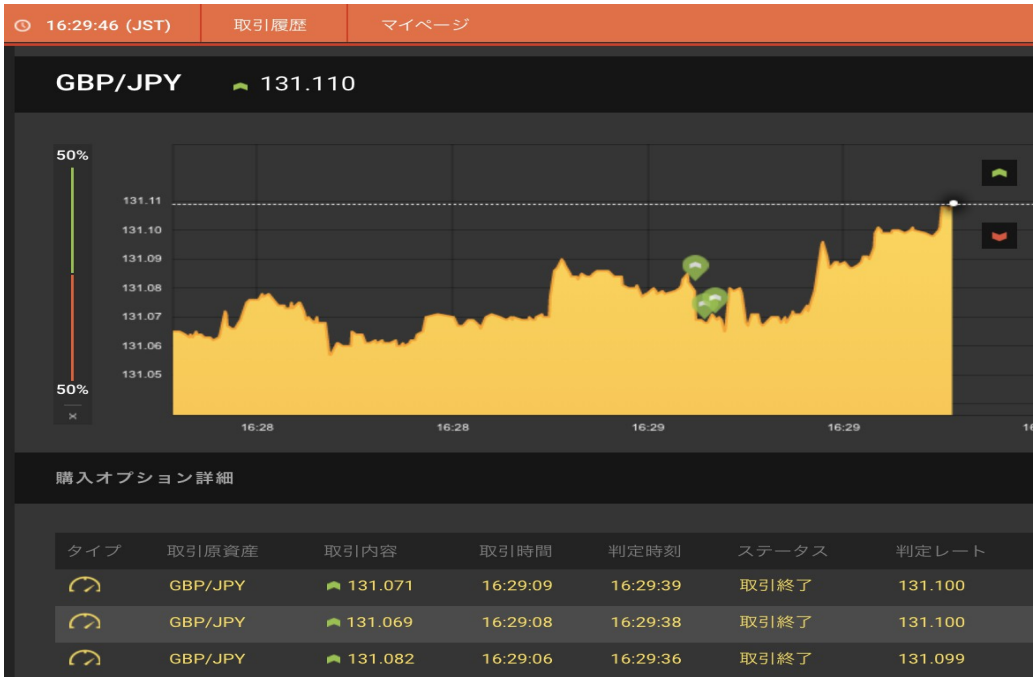
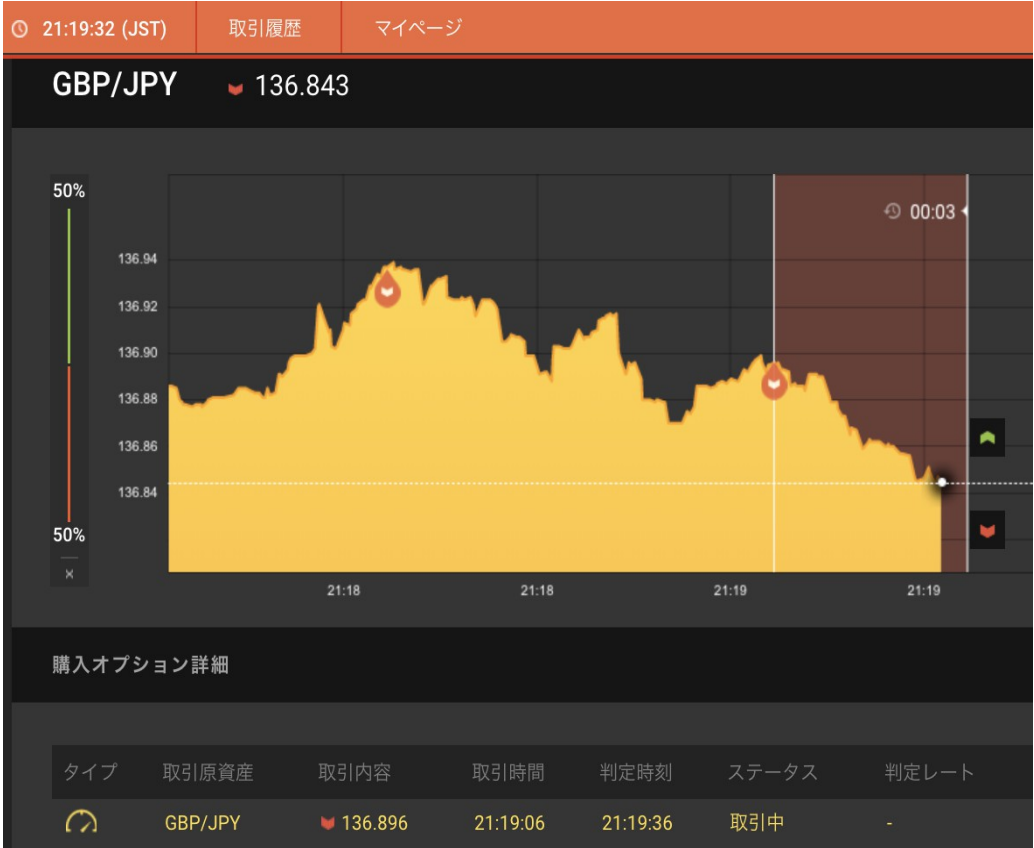
購入オプション詳細

タイプ	取引原資産	取引内容	取引時間	判定時刻	ステータス	判定レート
🔄	USD/JPY	📈 107.789	11:54:34	11:55:04	取引中	-
🔄	USD/JPY	📈 107.788	11:54:33	11:55:03	取引終了	107.776
🔄	USD/JPY	📈 107.788	11:54:31	11:55:01	取引終了	107.777
🔄	USD/JPY	📈 107.784	11:54:28	11:54:58	取引終了	107.777









基礎編：フラッグロジックの基礎概要

■FXの場合（個人的にはこちらがおすすめ）

- ・ 1分足の短期スキャルピング（5分足 15分足のデイトレードも可能）
- ・ 平均獲得pipsは5～20 pips（上位足であれば30 pips～も狙えます）
- ・ リスクリワードは1：1～3くらいのイメージ

僕の性格上、どちらかと言えば勝率に重点を置いているため正直あまり気にしていない

RRは基本中の基本なので、気にする方は独自で検証してください

- ・ 1日のチャンス回数は、相場状況にもよりますが1分足なら平均1～5回
5分足 15分足のデイトレードであれば平均0～2回（複数通貨ペア監視で増える）
- ・ 計画ナンピン有り（最大3ポジション、ロット分割して逆ピラミッティングも有り）

※引用：1億人の投資術『ピラミッティングについて』（ブログ）

▶ <https://oneinvest.jp/pyramiting/>

基礎編：フラッグロジックの基礎概要

- ・FXの場合、利確ポイントによって勝率は上下するが約8割～9割
立ち回り次第では、負け（損失）を出さずに10割決済できる。

以上がロジックの基礎概要となります。

このような概要が頭に入っているか入っていないかで、チャートを見る目や、エントリー時の心構え、ポジション保有期間中のメンタルが変わります。

ただし、あくまで僕目線での概要であることを忘れてはいけません。

冒頭でお伝えした通り「**僕の言ってることはヒント（情報）でしかない**」ので、後は『**ご自身の目で確かめて、体験して、腑に落とす**』ようにしてください。

FX/BOで使える フラッグトレード

基礎編：エントリーポイント

エントリーポイント

ここからは実際のチャートでエントリーポイントを見ていくのですが、その前に『**エントリーポイントの基本条件**』をおさらいしましょう。

■エントリーポイントの基本条件

- ・トレンド発生中▶ケースバイケースで短期長期トレンドどちらも狙う
- ・フラッグ（チャネルレンジ）形成
- ・トレンド4波動目のフラッグにチャネルラインを引く
- ・トレンドを形成した直近の波動にフィボナッチを当てる
- ・フィボナッチ「61.8、78.6、88.6」を確認▶この3つの数値がエントリーのターゲット
- ・「チャネルライン」と「フィボナッチの61.8、78.6、88.6」のどれかが、
『クロスしている地点』を確認
- ・クロス地点にロウソク足が近づいてきた時に、「ボリンジャーバンド3σ」も
クロス地点に交わっている、もしくは近くにいることを確認

エントリーポイント

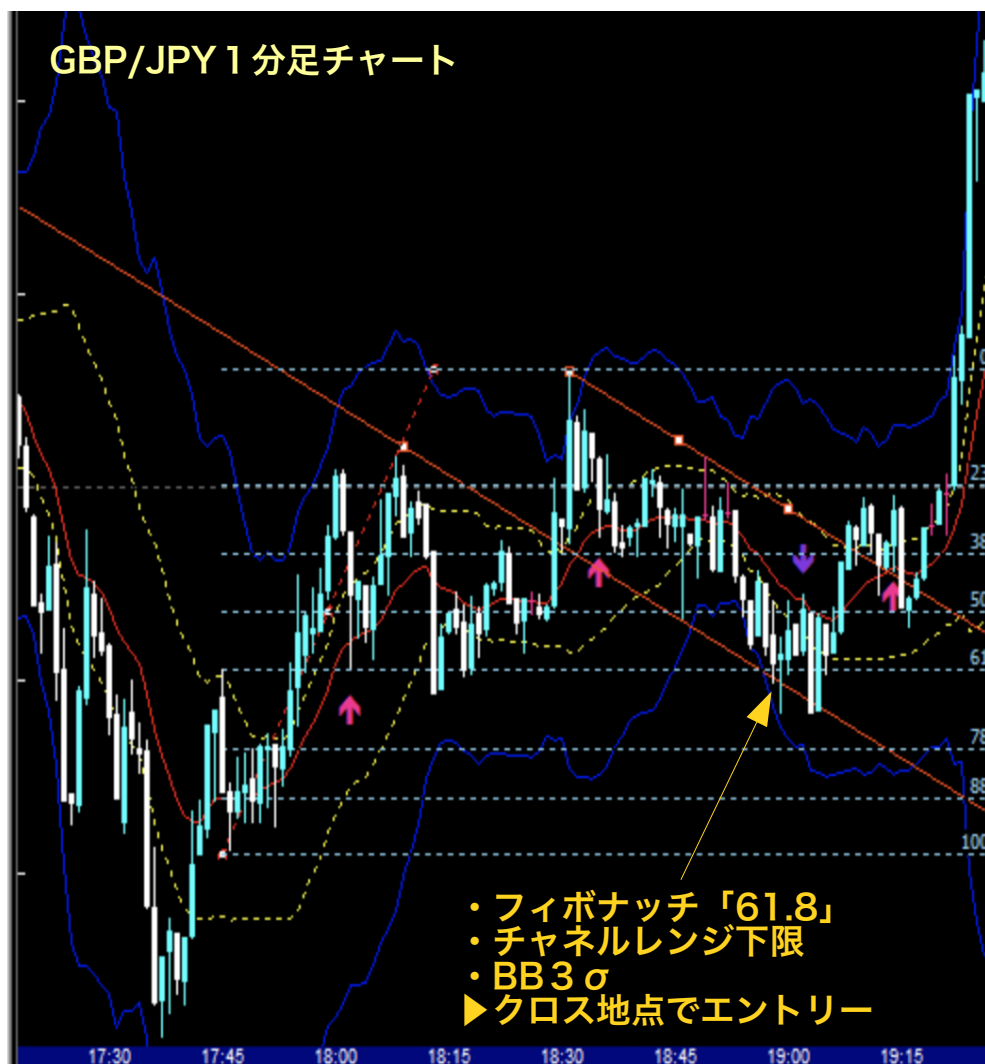
- ・「チャネルライン」「フィボナッチの61.8、78.6、88.6のどれか」「BB3σ」の『クロス地点がエントリーポイント』になります。
- ・ロウソク足がクロス地点にタッチしたタイミングでエントリー
- ・BOであれば、30秒か1分ターボでエントリー
- ・FXであれば、「フィボナッチの61.8、78.6、88.6」のどこかの一つのクロス地点か、複数のクロス地点でエントリーして、
 - 利確▶第一利確：逆側のチャネルラインタッチ、チャネルライン手前決済
 - 第二利確：逆側のチャネルラインを抜けて、次の高値安値タッチ決済
 - 第三利確：逆側のチャネルラインを抜けて、直近最高値最安値タッチ決済
- 損切り▶フィボナッチ100を確定足ベースで、実体で割ったら決済

これが基本条件となります。

実際のチャートで確認していきましょう。

エントリーポイント

■ロング事例 1



まずはわかりやすく 1 分足だけ見ていきます

- ・ **オレンジ色の斜め線**
 - ▶ フラッグ（チャンネルレンジ）
- ・ **複数本水平に引かれている青い点線**
 - ▶ フィボナッチリトレースメント

エントリーまでの流れを解説します。

エントリーポイント

■ロング事例 1

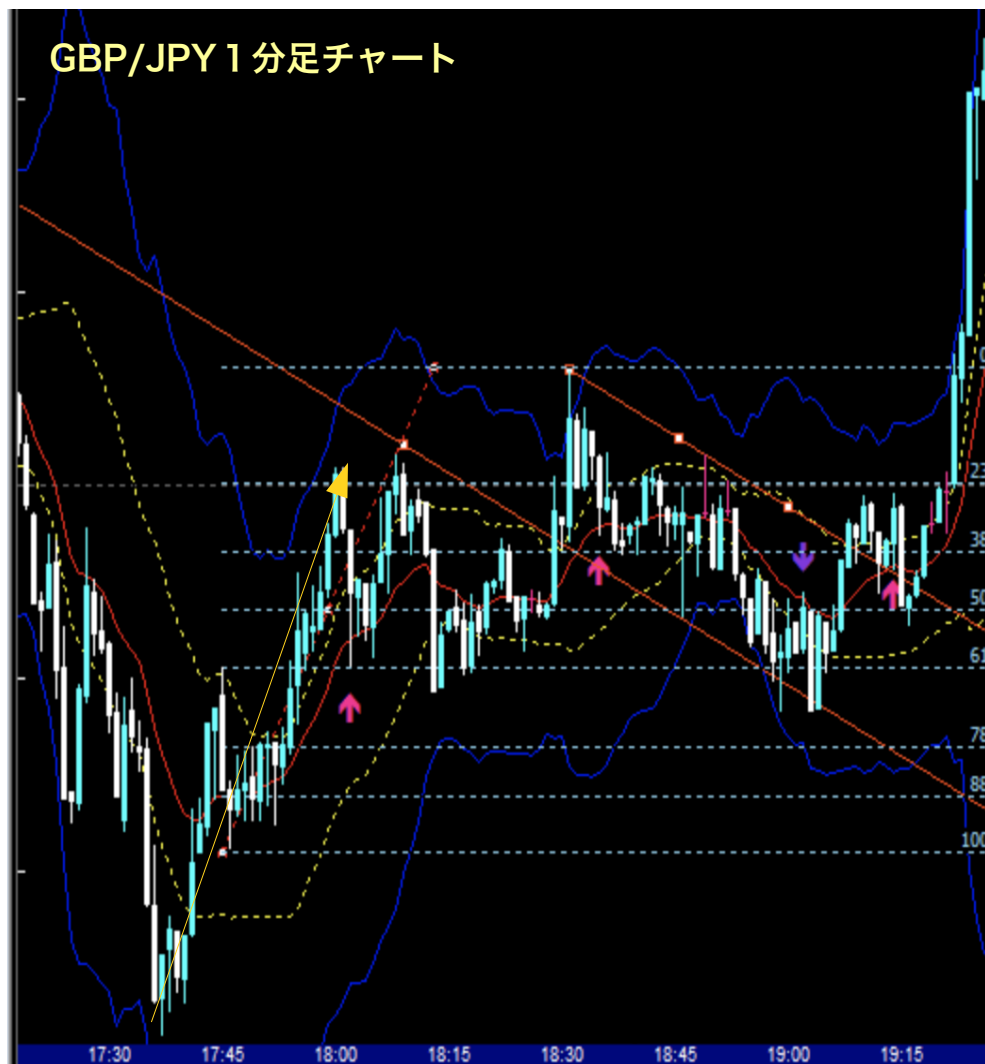


■エントリーまでの流れ

- ・上昇トレンド中
- ・4波動目にフラッグ（チャンネルレンジ）
- ・フラッグにチャンネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャンネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶フィボナッチ61.8とチャンネルライン下限がクロスしている！ここがターゲット
- ・ロウソク足がクロス地点にタッチした時、BB 3σもクロス地点付近にいたので
 - ▶条件成立！ロング（ハイ）エントリー！

エントリーポイント

■ロング事例 1



■分解してポイント解説

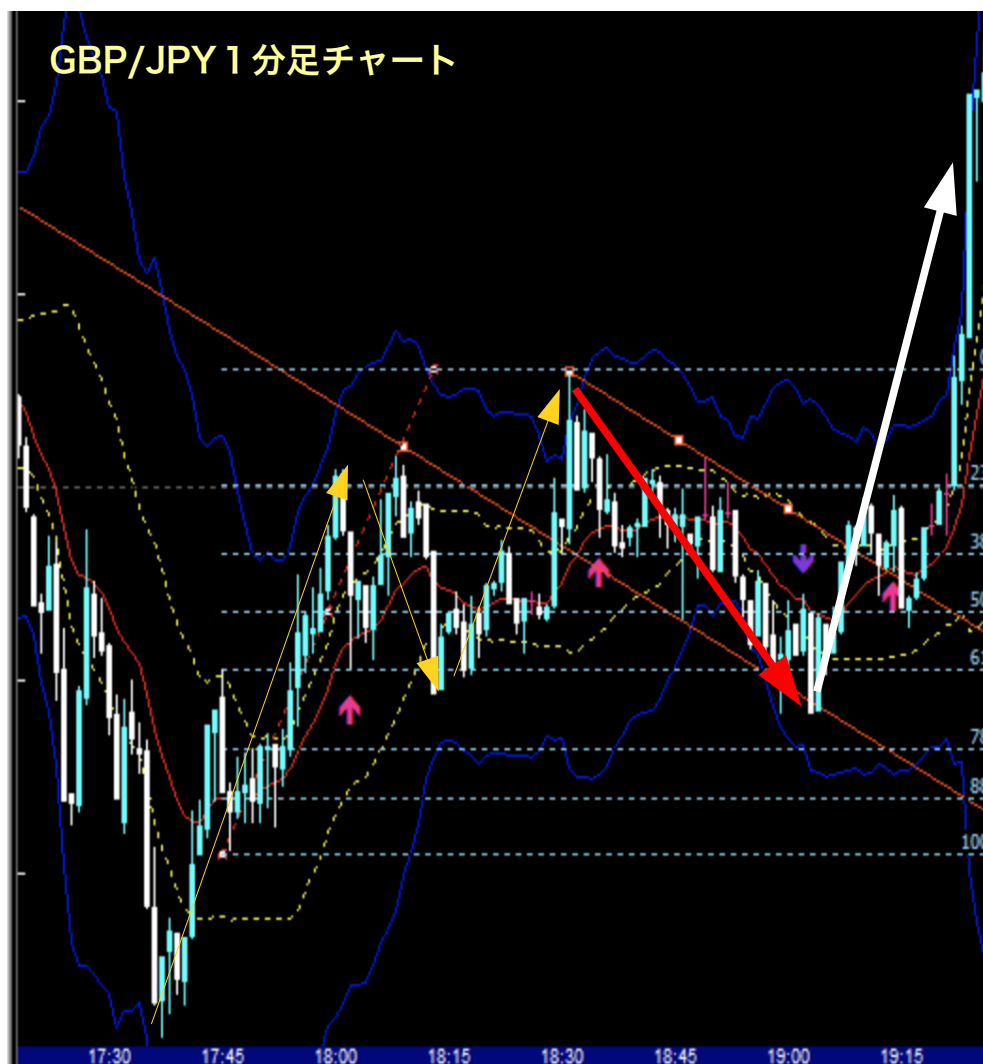
- ・上昇トレンド中



- ・黄色矢印の強い上昇波動から、「売り出尽くして、上試しにいくのかな？」と疑う
- ・本来はこのタイミングで5分足 15分足も同時に確認して状況を把握する場合によっては、時間足や日足も見る
- ・この時点ではまだロングやハイエントリーはしてはいけません

エントリーポイント

■ロング事例 1

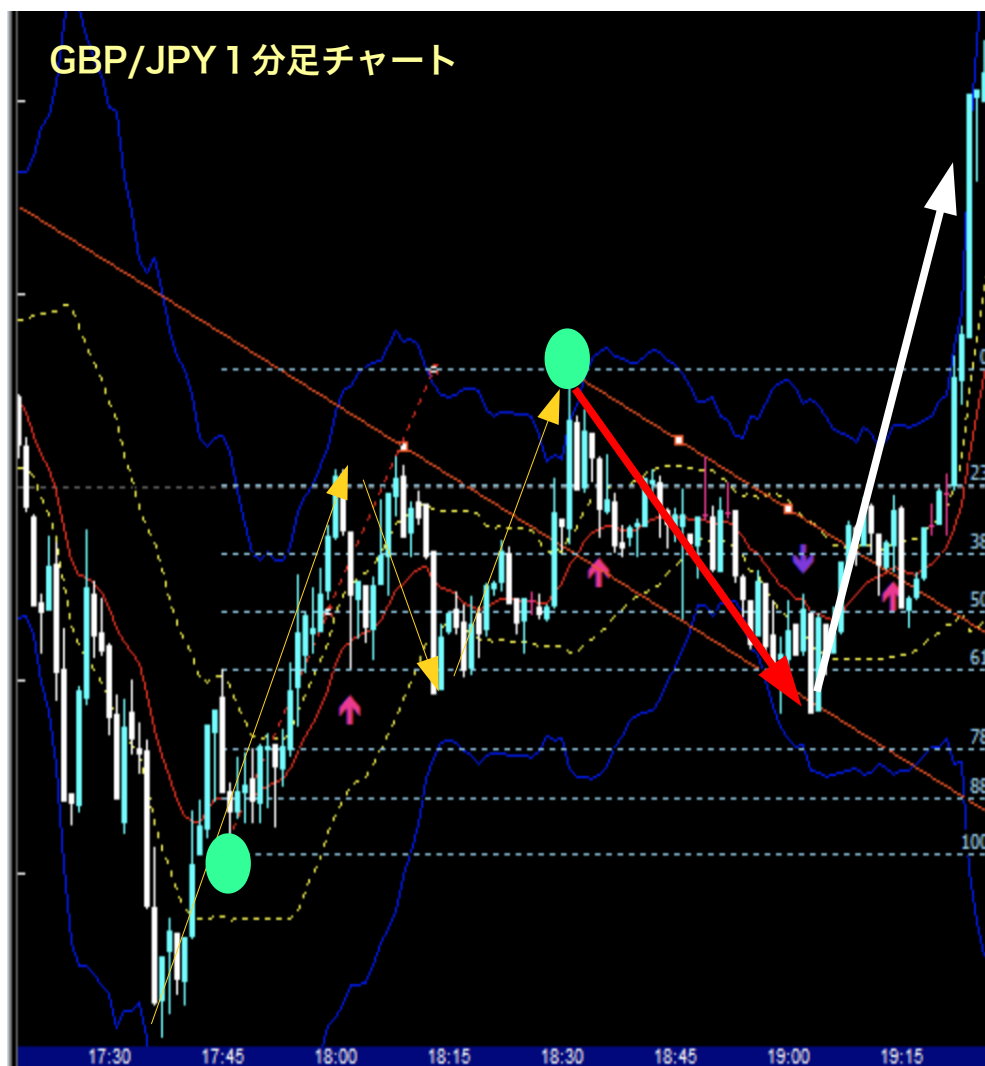


■分解してポイント解説

- ・ 4 波動目にフラッグ（チャネルレンジ）
- ▼
- ・ 黄色の 3 つの矢印で「3 波動」を認識する
- ・ 黄色の 3 つの矢印が「高値安値更新」しているので、短期的に上を試しにしている
- ・ 3 波動目の時点で「赤の 4 波動目がフラッグにならないか」と思って構えている
- ・ **フラッグはこの「赤の 4 波動目」にできる**
- ・ そしてフラッグロジックは「白の 5 波動目を取りに行きます！」

エントリーポイント

■ロング事例 1



■分解してポイント解説

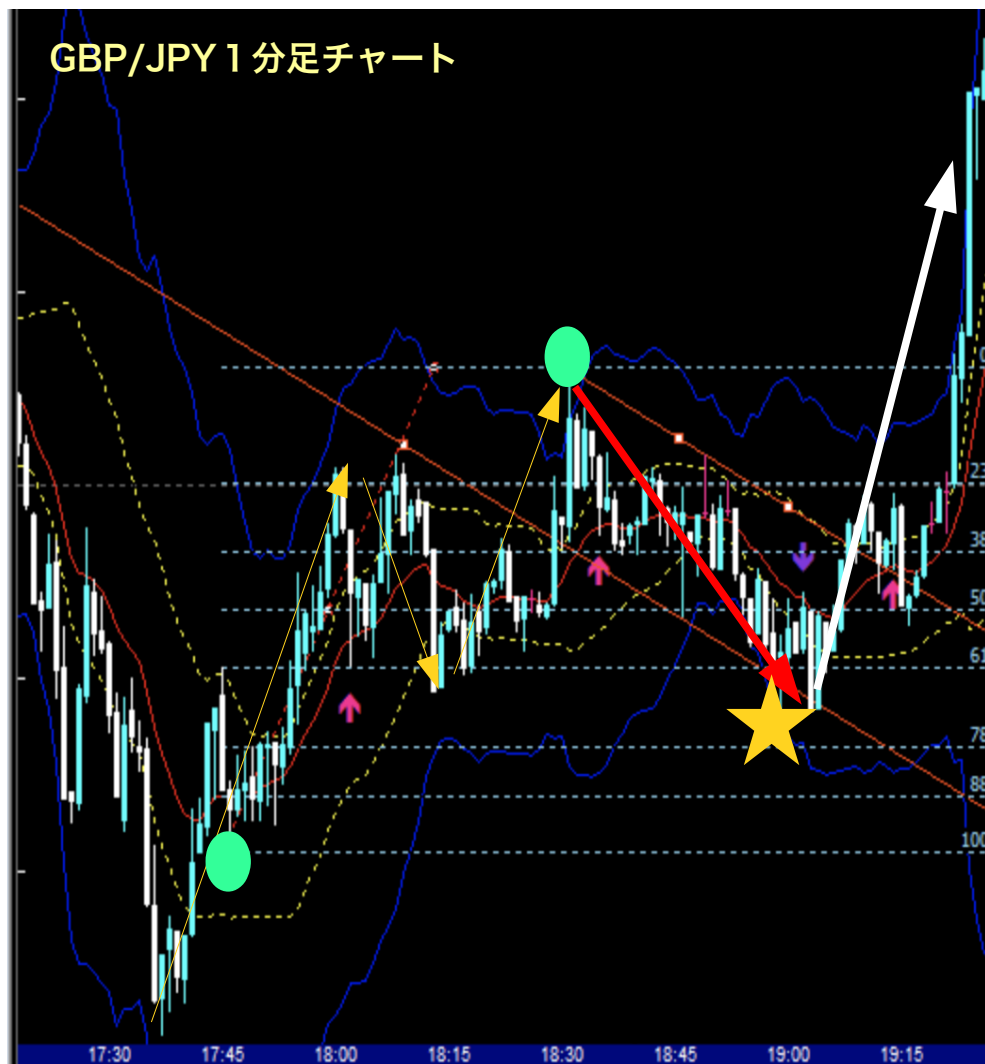
- ・フラッグにチャネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャネルとフラッグのクロス地点を探す



- ・赤の4波動目ができてきている段階で、オレンジのチャネルラインを引きます
- ・と同時にフィボナッチを当てていくのですが、このケースでは「緑丸の波動を結んでいます」
- ・現在レートからクロス地点を導き出す際、最も適切な距離の波動にフィボを当てます

エントリーポイント

■ロング事例 1



■分解してポイント解説

- ・フィボの当て方については、ケースバイケースなので、距離感を掴むためにも、今後事例を交えてシェアしていきます

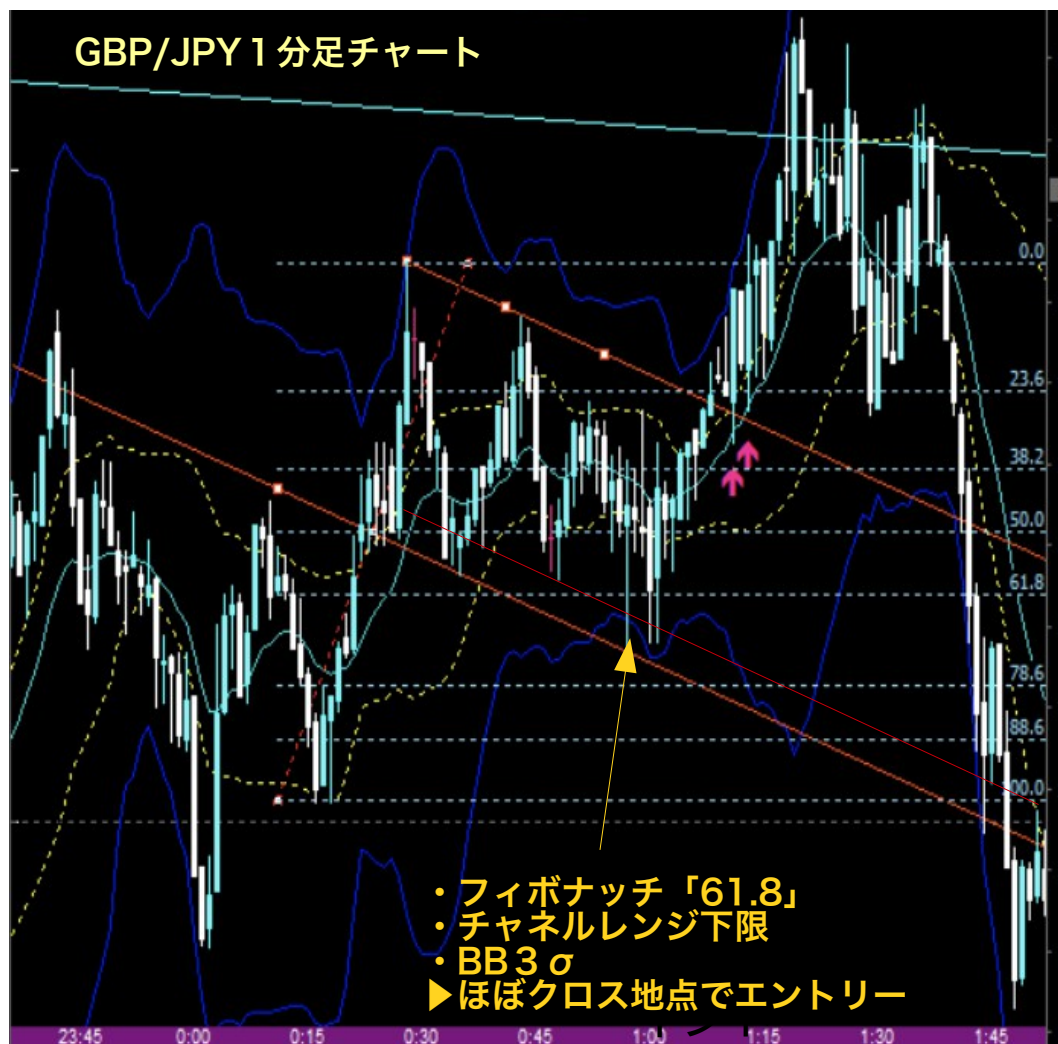


- ・これらの分析を経て、★のエントリーポイントを導きだします。

エントリーポイント

■ロング事例2

GBP/JPY 1分足チャート

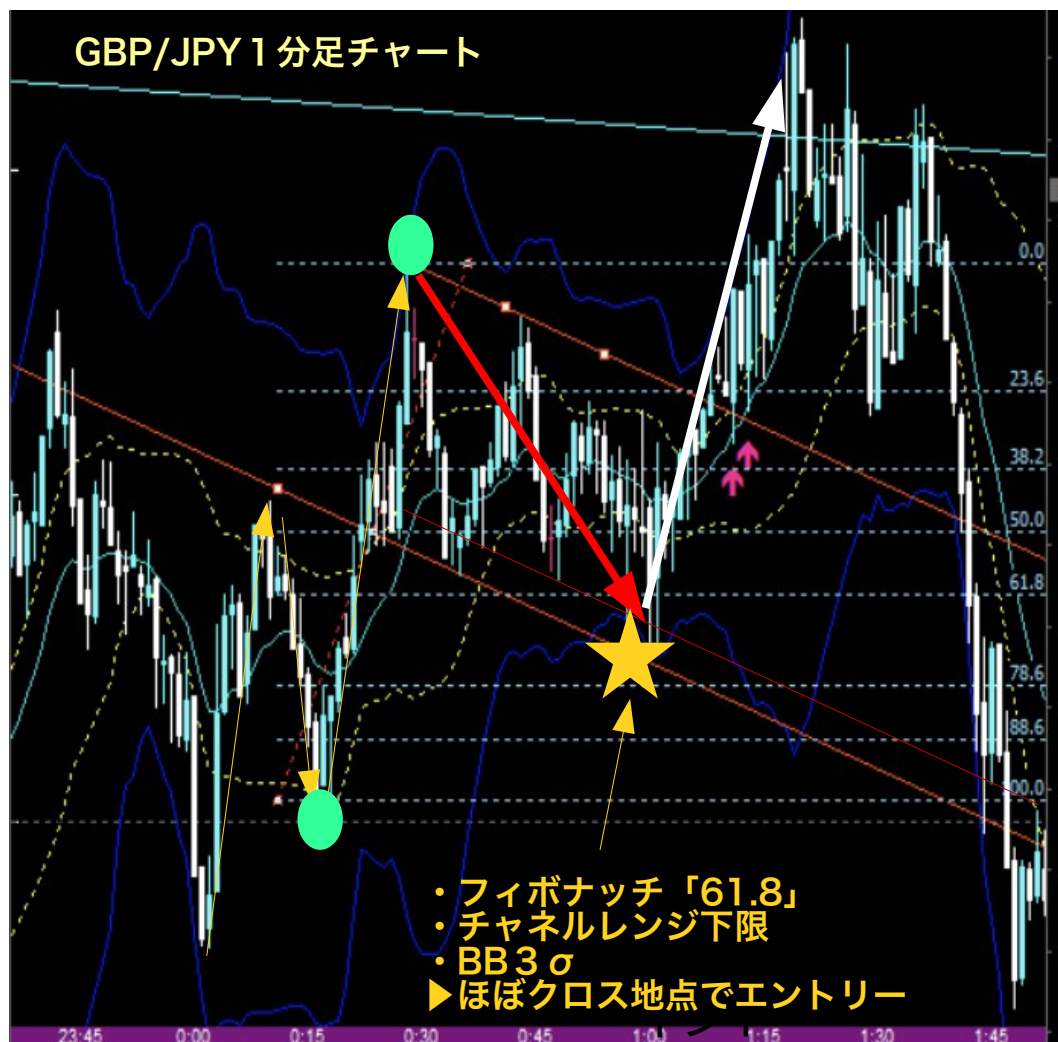


■エントリーまでの流れ：許容範囲内の例

- ・上昇トレンド中
- ・4波動目にフラッグ（チャンネルレンジ）
- ・フラッグにチャンネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャンネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶ フィボナッチ61.8とチャンネルライン下限がほぼクロスしている！許容範囲内
- ・ロウソク足がチャンネルライン下限とBB 3σのクロス地点にタッチした時
 - ▶ 条件成立！ロング（ハイ）エントリー！

エントリーポイント

■ロング事例 2



■ポイント解説

- ・ 上昇トレンド中
 - ▶ 黄色の矢印 3 波動
- ・ 4 波動目にフラッグ（チャネルレンジ）
 - ▶ 赤の 4 波動目でフラッグ形成
- ・ 白の 5 波動目を取りに行く！

若干形は違えど、事例 1 とパターンが一緒なのが分かりになりますでしょうか？

このパターンを狙っています。

エントリーポイント

■ロング事例 3

GBP/JPY 1分足チャート



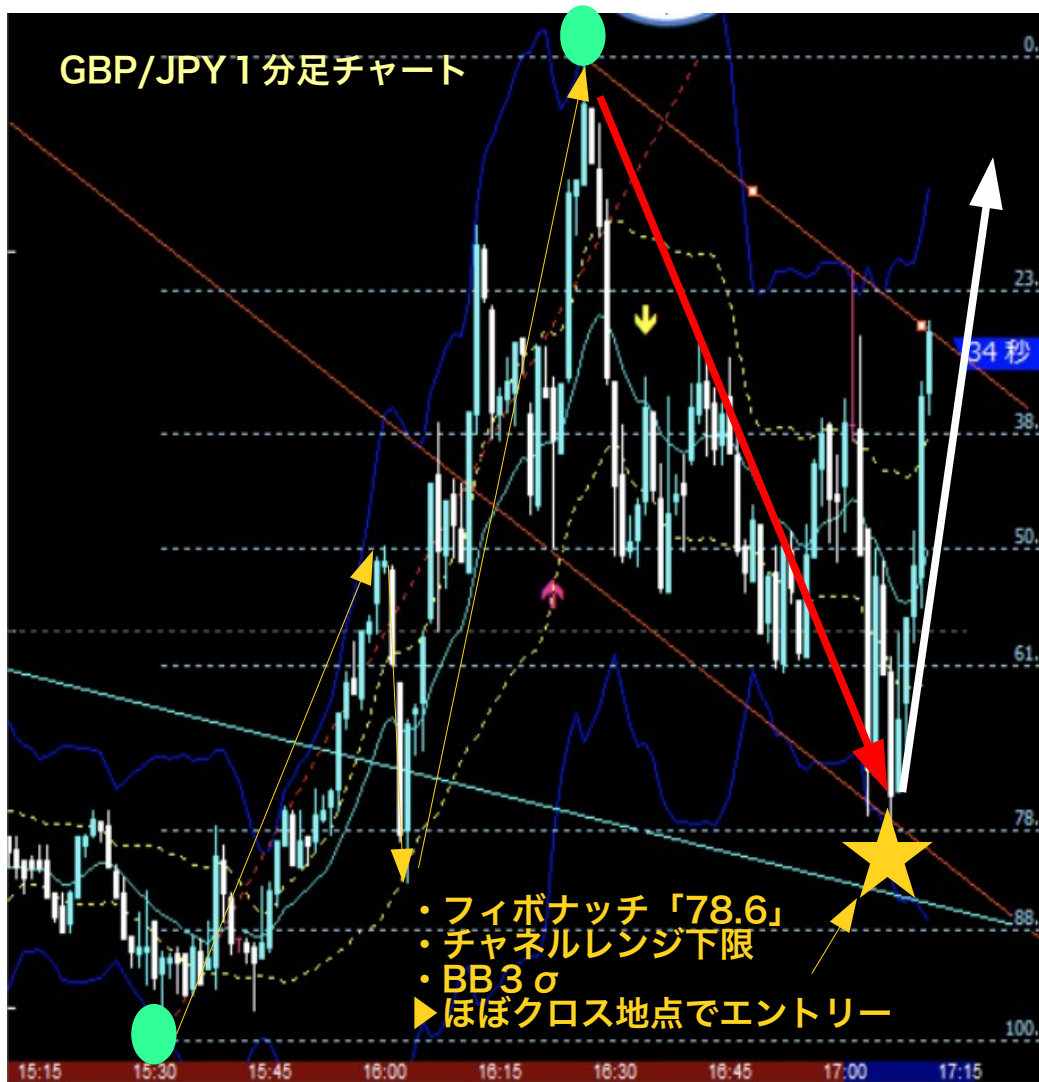
■エントリーまでの流れ：許容範囲内の例

- ・上昇トレンド中
- ・4波動目にフラッグ（チャンネルレンジ）
- ・フラッグにチャンネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャンネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶ フィボナッチ61.8とチャンネルライン下限がほぼクロスしている！許容範囲内
- ・ロウソク足がチャンネルライン下限とBB 3σのクロス地点にタッチした時
 - ▶ 条件成立！ロング（ハイ）エントリー！

エントリーポイント

■ロング事例 3

GBP/JPY 1分足チャート



■ポイント解説

- ・ 上昇トレンド中
 - ▶ 黄色の矢印 3 波動（5 波動とも）
- ・ 4 波動目にフラッグ（チャンネルレンジ）
 - ▶ 赤の 4 波動目でフラッグ形成
- ・ 白の 5 波動目を取りに行く！

厳密にはフィボラインに届いてませんが、これくらいは誤差と見てOKです。

気になる方はタッチまで待ちましょう。

エントリーポイント

■ショート事例 1

GBP/JPY 1分足チャート

- ・フィボナッチ「78.6」
- ・チャネルライン上限
- ・BB 3σ
- ▶クロス地点でエントリー

■エントリーまでの流れ

- ・下落トレンド中
- ・4波動目にフラッグ（チャネルレンジ）
- ・フラッグにチャネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶フィボナッチ78.6とチャネルライン上限がクロスしている！
- ・ロウソク足がチャネルライン上限とBB 3σのクロス地点にタッチした時
 - ▶条件成立！ショート（ロー）

46秒

エントリーポイント

■ショート事例 1

GBP/JPY 1分足チャート

- ・ フィボナッチ「78.6」
- ・ チャネルライン上限
- ・ BB3 σ
- ▶ クロス地点でエントリー

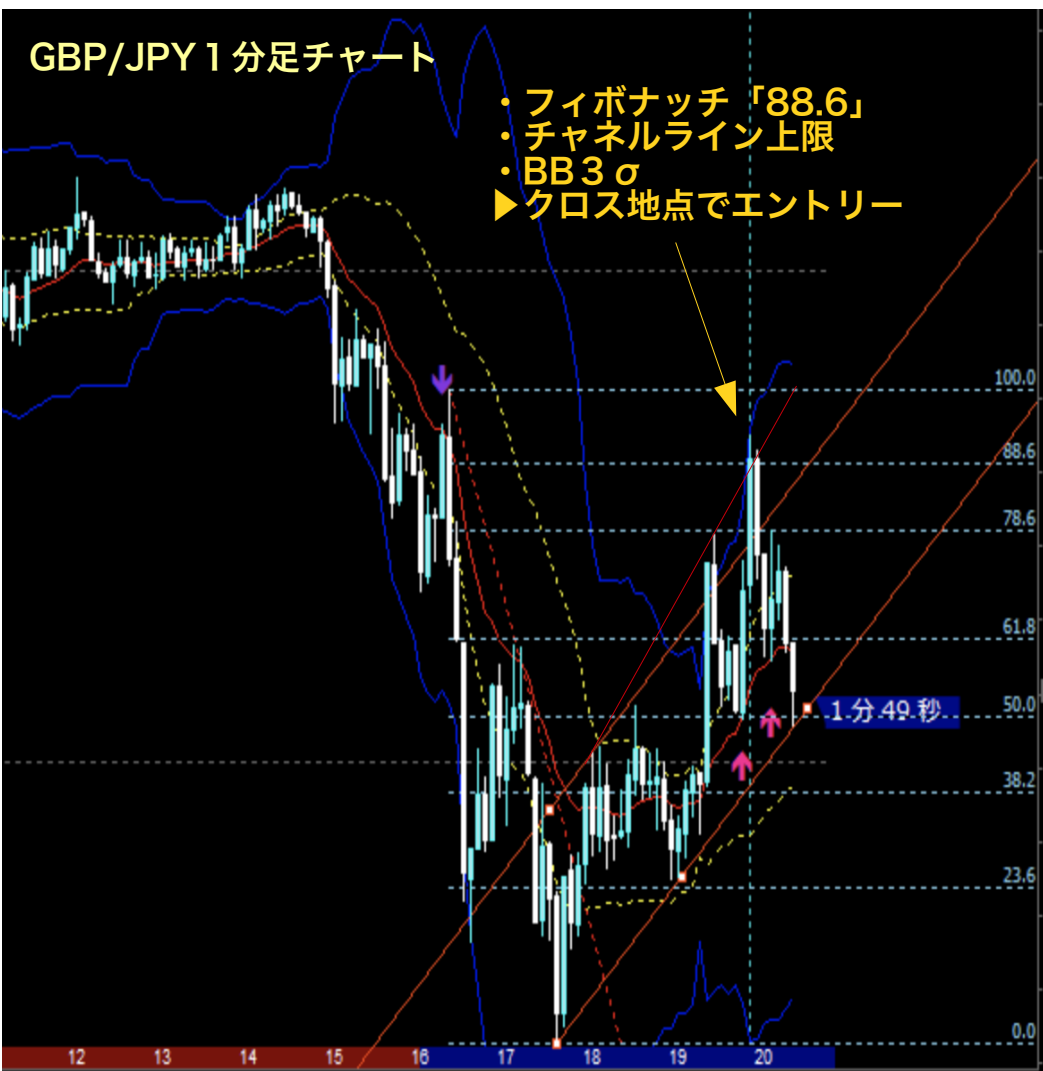
■ポイント解説

- ・ 下落トレンド中
 - ▶ 黄色の矢印 3 波動
- ・ 4 波動目にフラッグ（チャネルレンジ）
 - ▶ 赤の 4 波動目でフラッグ形成
- ・ 白の 5 波動目を取りに行く！

46 秒

エントリーポイント

■ショート事例2

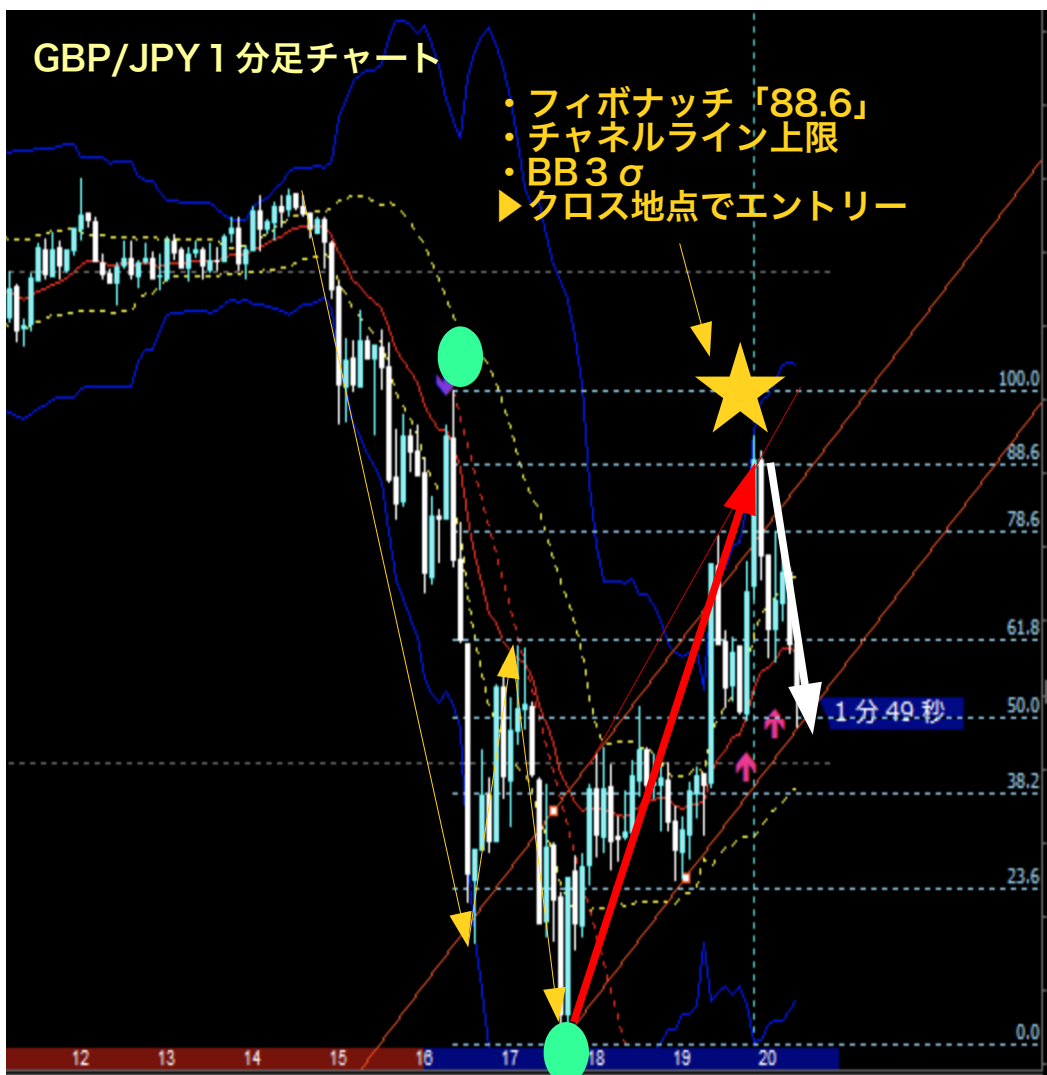


■エントリーまでの流れ

- ・下落トレンド中
- ・4波動目にフラッグ（チャネルレンジ）
- ・フラッグにチャネルラインを引く
- ・トレンドの波動にフィボナッチを当てる
- ・チャネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶フィボナッチ88.6とチャネルライン上限がクロスしている！
- ・ロウソク足がチャネルライン下限とBB 3σのクロス地点にタッチした時
 - ▶条件成立！ショート（ロー）

エントリーポイント

■ショート事例2



■ポイント解説

- ・下落トレンド中
 - ▶黄色の矢印3波動
- ・4波動目にフラッグ（チャンネルレンジ）
 - ▶赤の4波動目でフラッグ形成
- ・白の5波動目を取りに行く！

形が多少違ったり、厳密に言えばラインやクロス地点にタッチしていないこともあります。が、どれも流れやパターンがほぼほぼ一緒なことがお分かりになりますか？

パターンをたくさん見て抽象化できるようになるとトレードもしやすくなります。

エントリーポイント

■ショート事例 3

GBP/JPY 1分足チャート

- ・フィボナッチ「61.8」
- ・チャンネルライン上限
- ・BB3σ
- ▶クロス地点でエントリー

■エントリーまでの流れ：許容パターン

- ・一時的な下落反発中
- ・綺麗なフラッグ（チャンネルレンジ）形成
- ・フラッグにチャンネルラインを引く
- ・下落波動にフィボナッチを当てる
- ・チャンネルとフラッグのクロス地点を探す
- ・黄色矢印で
 - ▶フィボナッチ61.8とチャンネルライン上限がクロスしている！
- ・ロウソク足がチャンネルライン下限とBB3σのクロス地点にタッチした時
 - ▶条件成立！ショート（ロー）



エントリーポイント

■ショート事例 3

GBP/JPY 1分足チャート

- ・フィボナッチ「61.8」
- ・チャンネルライン上限
- ・BB3σ
- ▶クロス地点でエントリー

■ポイント解説

- ・一時的な下落反発中
 - ▶今回は1波動
- ・綺麗なフラッグ（チャンネルレンジ）
 - ▶赤の波動でフラッグ形成
- ・白の波動を取りに行く！

クロス地点が綺麗なパターン。
フラッグ（チャンネルレンジ）内の動きも綺麗

フラッグが綺麗に決まるとこういった一時的な反発ポイントでも取れます。

エントリーポイント

いかがでしょうか？

図ではなくチャートで見るとだいぶ印象が違いますが、ロウソク足の波動を矢印でなぞって抽象化することで、図に近いイメージでチャートを見ることができます。

細かい点を言えば、**正確に図の通りではありませんが、抽象化して見ることで、全てが共通したパターンに見えることがお分かりになりますでしょうか？**

このようにチャートを見ながら、気になる形が出てきたらどんどん分析をしています。

分析は何度しても資金を減らすことはありませんから、少しでも“これは…”と思ったらささっと分析するように癖付けてください。

そうすることで、チャートをパッとみただけでフラッグが見つけれられるように、目が慣れてきます。

エントリーポイント

まず第1フェーズとして、目を慣らしてエントリーポイントを見つけていきましょう！

エントリーポイントらしき形を見つけたら、とにかく分析をして検証しましょう！

そして、実際にチャートが想定通りに動くのか？それとも思うように動かないのか？見守り、その結果をデータとして集めて分析し、改善してみましょう！

これを繰り返すことで、少しずつスキルが身につき、見える景色が変わるはずです。

最初から利益を追ったり、ちょっとうまくいかなると諦めて他のことに目移りしたりせず、新しい仕事の作業を覚えるような感覚で、根気よく淡々とこなしていきましょう。

値動きがわかってくるとトレードが何倍も楽しくなってきますよ！

FX/BOで使える フラッグトレード

基礎編：ロジックの構成要素を学ぶ

ロジックの構成要素を学ぶ

この章では、**フラッグロジックを構成する各要素一つ一つをしっかりと学ぶための動画やブログ記事を紹介**致します。

ロジックのみを聞いて、ただ単にその通りにトレードするだけではなく、各要素の意味をしっかりと理解した上で考えながら分析することで、より腑に落とすことができるだけでなく、“根拠の力”により精神的に落ち着いた状態でトレードすることができます。

トレードは基本的に全て自己判断で行います。

実際に自己資金を投下してトレードする訳なので、**ちょっとした認識の違いによるケアレスミスや、ロジックの根拠への不信感による判断ミスなどで資金を減らすのは非常に勿体無い**ので、ぜひ一度は全てのコンテンツに目を通してください。

ここでも改めてフラッグロジックの有効性を感じて頂けると幸いです。

ロジックの構成要素を学ぶ

また、これまでの僕の文章だけでは意味がわからなかったことも、動画というアプローチから理解できることも多々あると思います。

先にも述べた通り、トレードでは自分がこれから何をするのかをしっかりと理解して挑むことが重要なので、ぜひここで理解を深めるようにしてください。

まずは、ロジックの構成要素の確認です。

■ロジックの構成要素

- 1、フラッグ（チャネルレンジ）
- 2、チャネルライン
- 3、フィボナッチリトレースメント
- 4、ボリンジャーバンド
- 5、波動論

ロジックの構成要素を学ぶ

フラッグトレードの代表的な構成要素はこの5つになります。

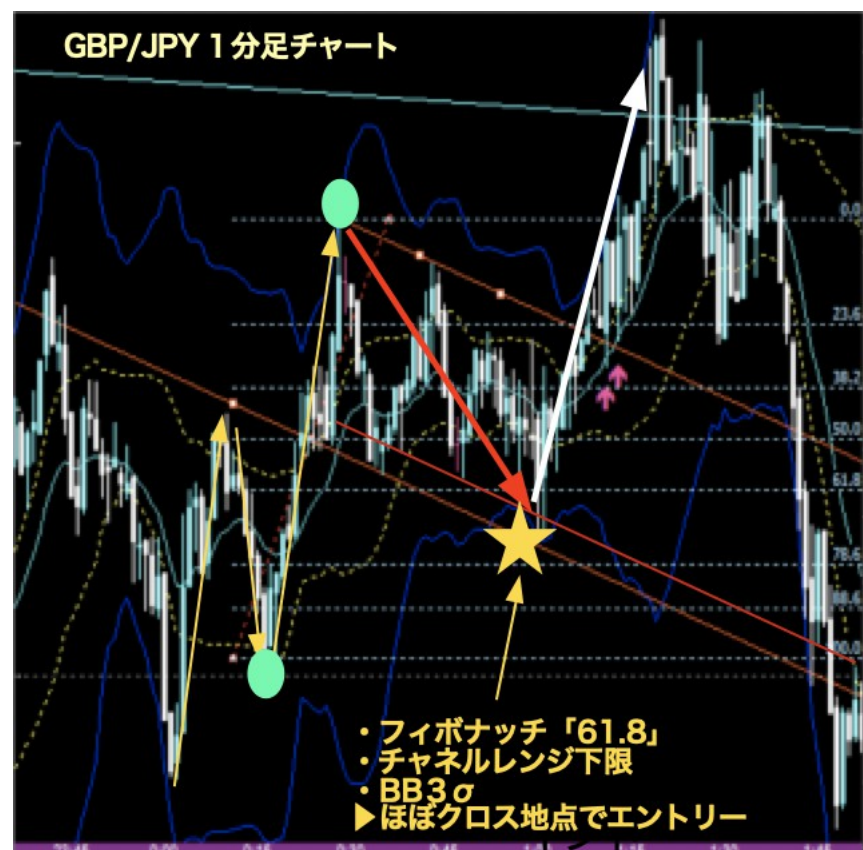
前章で紹介した事例をもとにおさらいをすると

- ・ **赤矢印の波動矢**▶ フラッグ（チャネルレンジ）
- ・ **オレンジ色の斜め線**▶ チャネルライン
- ・ **青点線**▶ フィボナッチリトレースメント
- ・ **紺の実戦**▶ ボリンジャーバンド
- ・ **黄色赤白矢印**▶ 波動

となります。

これら一つ一つをより詳しく解説しますので

フラッグロジックが「どのような根拠を積み重ねて作られているのか？」がお分かりにな



ロジックの構成要素を学ぶ

と思います。

基礎概要の章でも紹介しているコンテンツもまとめているので、一部重複しますが、根拠を落とし込むためにもぜひ最後までしっかりとご覧ください。

■フラッグ

①引用：Re:studyFX（ブログ）

<https://restudy-fx.com/chart-pattern-flag/>

フラッグの基礎がわかります。

②引用：迷晴れFX（ブログ&YouTube）

<http://mayohare-fx.com/flag-tokucyo/>

こちらもフラッグの基礎がわかりますので読んでください。

狙っているエントリーポイント的には僕のオリジナルとある程度被っています。

ロジックの構成要素を学ぶ

ただ、根拠が違うのでピンポイントでは被ることはないのですが、根拠は多いに越したことはないので、迷晴れさんの根拠も頭に入れておきましょう。
フラッグ以外にペナントというチャートパターンも解説されていますが、ここは特に気にしなくて大丈夫です。

③引用：ゆきまさFX (YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=U7fKYbWEDtk>

エントリーポイントやフィボの使い方は違いますが、フラッグに対する考え方や利用方法など、僕の考えにかなり近いです。

特に「フラッグを先読みする考え方」は僕と全く一緒なのでよく見ておいてください。

■チャンネルライン

①引用：FXちゃお (ブログ)

<https://www.fxciaio.com/fx-technical/techzen/7151/>

ロジックの構成要素を学ぶ

チャネルラインの引き方や、基本的な使い方などがわかります。

②引用：ゆきまさFX (YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=mn8YVzftkfg>

チャネルラインをどのタイミングで、どのように引くのかがわかります。

また環境認識を含めたトレード戦略の立て方も流れで理解できると思います。

僕の場合、1分足のメインなので、基本的には5分足・15分足で環境認識しています。

もちろん、1時間・4時間・日足で「今どんな相場状況で、今どの位置にいるのか？」を確認した上で目線を作っていきます。

ゆきまささんの考え方は本当に僕と近いです。

▶9:45

「目線を固定した後、どのようにしてエントリーポイントを導くか？」というお話をしていますが、僕のロジックではここで「フィボナッチリトレースメント、ボリンジャーバンド3σ」をメインに使います。（補助的に波動論も見ています。）

ロジックの構成要素を学ぶ

さらにプラスの根拠として「チャネルライン、意識される水平線」を見ます。
これだけ複数の根拠を重合させてフラッグでトレードするイメージです。

▶11:00

ここからの情報は特に覚えなくて大丈夫です。

内容的には「上位足の環境認識から、下位足に落としてエントリーポイントを見つける流れ」を解説しています。

▶17:10

FXの「利確」についてお話ししています。（BOメインの方は見なくてもOKです。）

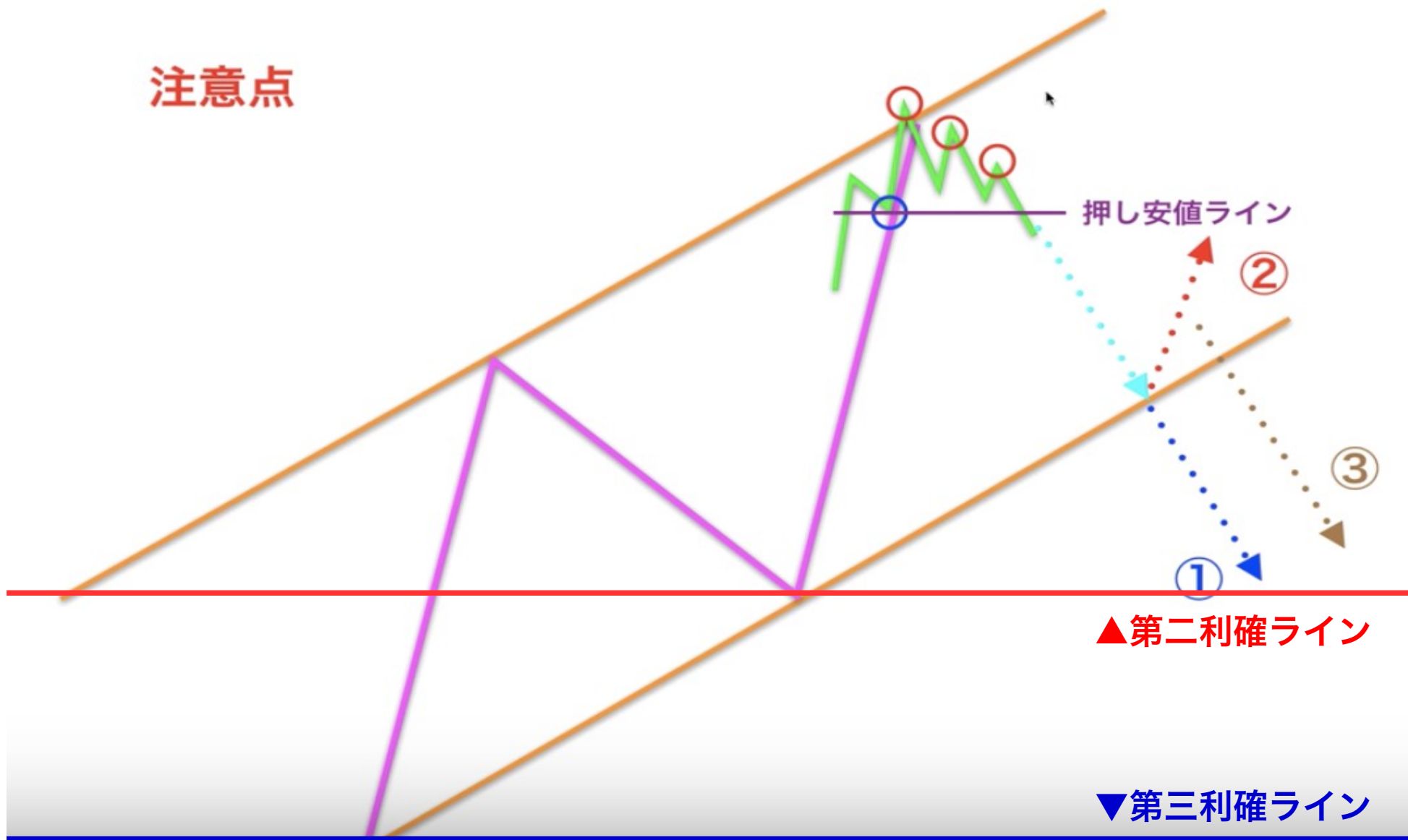
僕のロジックでは逆側のチャネル到達（少し手前でもOK）が第一利確なので、水色の点線矢印です。

第一利確である逆側のチャネルに到達して、①のように大陰線大陽線で勢いよく一気に抜けていくようであれば、抜けた後のプライスアクションを見ながら、「直近高値安値」を第二利確目標とします。（※図参照）

第三利確目標は最終地点として、「直近最高値安値」を目標に見守ります。

ロジックの構成要素を学ぶ

注意点



ロジックの構成要素を学ぶ

本来はトレンドフォローなので、この第三利確目標まで持っているのが定石だと思います。

ある程度利が乗ってくれば、トレーリングストップや逆指値で「損失を0化」することで負けをなくすことも理論上可能です。

ただ、1分スキャの場合、第一利確に比べて純粋な勝率は下がりますし、基本的にポジション保有時間が伸びるので僕はあまり好きではありません。

僕の性格上『**勝率を高く維持しつつ、短いポジション保有時間で勝負すること**』が重要なので、ほとんどの場合第一利確目標で決済します。

また、ケースバイケースですが、値動き次第では「損益トントンの0決済」もしくは「微益で決済」ということも普通にします。

“**相場は未知**”というスタンスなので、自分の性格（メンタル）が崩壊しない戦略をその時々に応じて選択し戦っています。

ロジックの構成要素を学ぶ

■フィボナッチリトレースメント

①引用：FXブロードバンド（ブログ）

<https://www.fxbradnet.com/tech/technicalchart/tech20.jsp>

フィボナッチの基礎知識を記載した記事です。

②引用：読みなよ。FX勉強会（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=XURTUCB7eTY>

上記の記事にもあるように、フィボナッチの役割は「トレンド発生中に押し目買い・戻り売りをする際、どこでエントリーすればいいのか？その目安を導き出す」ことです。

それについて具体的に解説している動画です。

ただ、僕のフラッグロジックは別の数値も使いますので、この動画ではフィボの役割を知るイメージで視聴ください。

③引用：ささっちのトレード大学チャンネル（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=TQT3naHw21s>

3:50秒くらいまでフィボナッチについての基本的な解説をしてくれています。

ロジックの構成要素を学ぶ

▶8:15

MT4の使い方として、フィボナッチで「**任意の数値を表示する方法を解説**」しています。
こちらを参考に「**フィボナッチ78.6、88.6**」を表示してみてください。

■ボリンジャーバンド

①引用：お金のキャンパス（ブログ）

<https://money-campus.net/archives/4246>

ボリンジャーバンドの基本情報がわかります。

記事内にもある通り、ボリンジャーバンドは「レンジ逆張りに有効」なテクニカルツールです。

フラッグは“チャネルレンジ”であることから、BBが有効に働くと考えて根拠の一つに採用しています。

特にレンジ中に3σまで到達するとヒゲで一気に押し戻される傾向にあることから、反発狙いの超短期BOでも非常によく使えます。

ロジックの構成要素を学ぶ

■波動論（エリオット波動）

①引用：Re:studyFX（ブログ）

<https://restudy-fx.com/elliott-wave-basic/>

波動論の基礎が書いてあります。

②引用：ゆきまさFX（YouTube）

<https://www.youtube.com/watch?v=CGGdfRatpnE>

▶10:30★

ここ必ず見てください！フラッグはここを狙っています！

③引用：ゆきまさFX（YouTube）

https://www.youtube.com/watch?v=D_0J9J1OFdM

フラッグショート（ロー、戻り売り）について解説している動画です。

フラッグの上位足環境認識（マルチタイムフレーム）の考え方が学べます
この方の考え方僕と共通している部分が多いです。

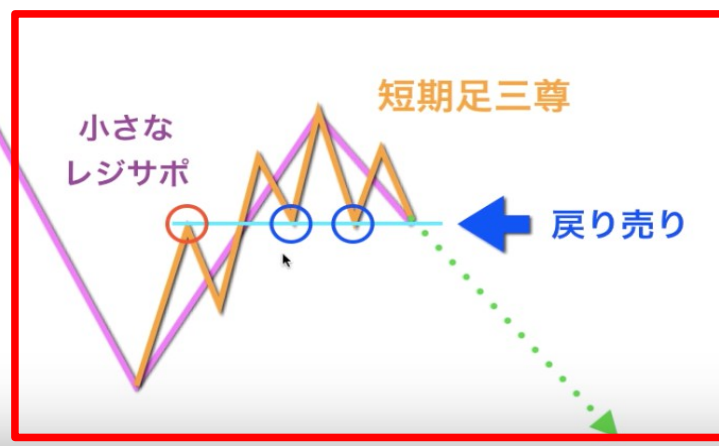
ロジックの構成要素を学ぶ

▶ 3:05

チャートパターンについて「三尊（ヘッドアンドショルダー）」と言っていますが、画像をよく見てください。

波形が「フラッグになっている」のがお分かりになりますか？この流れを狙います。

戻り売りのコツ補足編



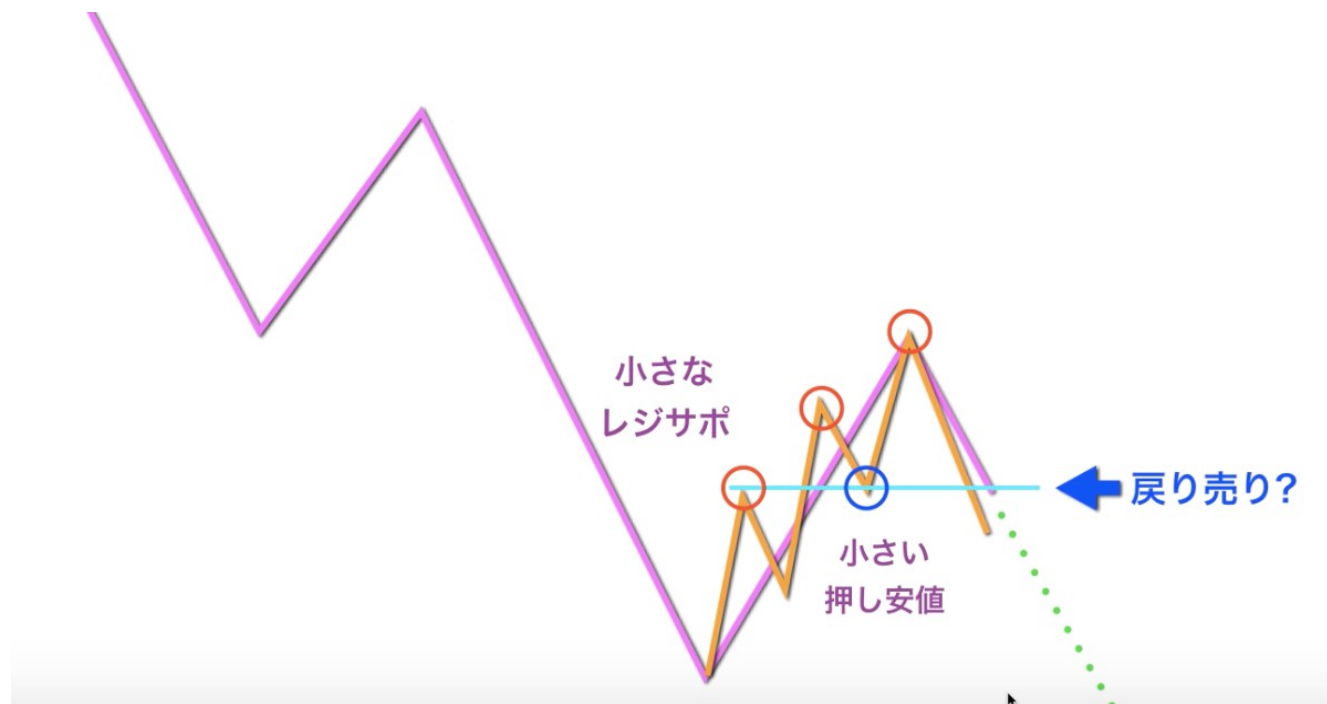
ロジックの構成要素を学ぶ

▶8:00

これから話してる「**小さな波動**」も重要なお話です。

この動画ではカウントされていませんが、僕のフラッグロジックの場合『フラッグの小さな波動もカウントします』。

この動画の絵で言えば、9:04の画像の上昇フラッグの波に赤丸が3つ付いています。これは「5波動目が完結した」と見て、そろそろ落ちるという一つの根拠となります。



ロジックの構成要素を学ぶ

④ゆきまさFX (YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=9Phrli1wT1Y>

フラッグロング（押し目買い）について解説している動画です。

フラッグの上位足環境認識（マルチタイムフレーム）の考え方が学べます
この方の考え方僕と共通している部分が多いです。

▶6:37

ここからの考え方は、アップトレンド中のフラッグを正確に捉えるための上位足環境認識（MTF）となります。

緑の上足の波動の4波動目。

ピンクの下位足の波動がフラッグ3波動目以上（動画の画像では5波動目でWボトムになっている）。

僕が見ている時間足で言えば、15分足か5分足が緑の波動で、ピンクが1分足の波動となります。

こういったポイントを狙っていきます。

ロジックの構成要素を学ぶ

▶9:00

ここではトレンドラインを引いていますが、これをチャネルラインで引いて、逆側のチャネルラインでエントリーポイントを見つけるが僕のロジックです。

以上がロジックの構成要素についての解説です。

ここまでの内容でロジックの基礎的な部分については、かなり理解が深まったのではないかと思います。

それではいよいよ最後の章として、ロジックの根拠をまとめます。

FX/BOで使える フラッグトレード

基礎編：各根拠の考え方まとめ

各根拠の考え方まとめ

基礎編最後の章は、これまで解説してきたフラッグロジックの根拠をまとめます。

■フラッグ（チャネルレンジ）

- ・トレンド継続を示唆する典型的なチャートパターン。
- ・視覚的に判別しやすく、世界で認知されている王道の形。
- ・トレンド継続中のレンジ逆張りとして考えた場合、BBを使ってチャネルレンジ上限下限から逆張りを仕掛けているので、トレンド+レンジ内の値動きの特性も活かしている。
- ・チャートパターンは当然口ウソク足の集合体で構成されているので、インジケーターのようにリペイントしないことから、個人的見解が介入しにくく、世界のトレーダーの思惑を感じ取りやすい。

■チャネルライン

- ・チャネルラインはレジスタンスサポートラインとして世界のトレーダーが反転・反発ポイントとして意識している。

各根拠の考え方まとめ

- ・チャネルラインも裁量で引いていればリペイントしないので、多くのトレーダーと同じポイントにラインが引ければ目線が揃いやすい。

■フィボナッチリトレースメント

- ・トレンド継続中の押し目買い・戻り売りの反転・反発ポイントの目安になる。
- ・人間心理にアプローチする側面を持つテクニカル。
- ・61.8、78.6、88.6はフォボの中でも「深目の押し」の数値に当たることから、トレンド継続中の波動にハマれば天底の目安となりやすい。

■ボリンジャーバンド

- ・レンジ中の逆張り指標として多くのトレーダーが使用しているメジャーなテクニカル。
- ・よって、レンジの上限下限の目安になりやすい。
- ・特に3 σ は一般的にバンドにタッチすれば99.74%の確率で反発されている。

各根拠の考え方まとめ

ヒントを得た後は、チャートと向き合い自分の目で確かめる。
一番最初に述べましたが、これがとても重要です。

ここまでお伝えしてきたお話を元に、チャートを見てください。
少しでも何かに気付いたり、変われるきっかけになれば嬉しいです！

基礎編はこれで終了しますが、学びの手順でお伝えした通り、ここからが「実践編」として本番となります。

本番で重要になるポイントは「環境認識」です。

これについてはケースバイケースなので資料としてまとめることがとても難しいです。
なので、実際にトレードしながら一つずつ学んで行く方が逆に効率的だと思います。

各根拠の考え方まとめ

無尽蔵に添削したり、サポートしたりすることは難しいですが、不定期でエントリーポイントのシェアをしていきますので、そこで解説も入れていきます。

ですので、

①本資料▶「基礎」 ②不定期メルマガ▶「実践」

という認識で受け取っていただければと思います。

ぜひ「本資料で基礎を固めて、メルマガで実践的に学ぶ」という形でご利用いただければ幸いです。

最後までお付き合いくださりありがとうございました！
またメルマガでお会いしましょう！

FX/BOで使える フラッグトレード